

(様式第 10)

東邦大森院（総）第 2-38 号
令和 2 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 東邦大
理事長 炭山 嘉

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 31（令和元）年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16
氏 名	学校法人 東邦大学 理事長 炭山 嘉伸

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東邦大学医療センター大森病院

3 所在の場所

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	○有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科		
2消化器内科		
3循環器内科		
4腎臓内科		
5神経内科		
6血液内科		
7内分泌内科		
8代謝内科		
9感染症内科		
○10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
○11リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	○有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
○1呼吸器外科 ○2消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ○6心臓血管外科 7内分泌外科 ○8小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○1精神科 ○2小児科 ○3整形外科 ○4脳神経外科 ○5皮膚科 ○6泌尿器科 7産婦人科 ○8産科 ○9婦人科 ○10眼科 ○11耳鼻咽喉科 ○12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ○15麻酔科 ○16救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	○有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
○1小児歯科 ○2矯正歯科 ○3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科 2 脳神経内科 3 呼吸器科 4 消化器科 5 循環器科 6 形成外科 7 美容外科 8 性病科 9 肛門科 10 気管食道科 11 リハビリテーション科 12 病理診断科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36床	床	床	床	898床	934床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	266人	180.0人	446.0人	看 護 補 助 者	10人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	3人	2.7人	5.7人	理 学 療 法 士	14人	臨床検査技師	95人
薬 剤 師	68人	1.8人	69.8人	作 業 療 法 士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	283人	0人	283人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	79人	0人	79人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	710人	10.6人	719.7人	臨 床 工 学 士	21人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	3人	0人	3人	栄 養 士	1人	その他の技術員	40人
歯科衛生士	4人	0.6人	4.6人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	101人
管理栄養士	16人	0人	16人	診療放射線技師	57人	そ の 他 の 職 員	23人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	50人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	48人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	7人
精 神 科 専 門 医	10人	放 射 線 科 専 門 医	5人
小 児 科 専 門 医	27人	脳 神 経 外 科 専 門 医	10人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	12人
泌 尿 器 科 専 門 医	16人	麻 酔 科 専 門 医	13人
産 婦 人 科 専 門 医	23人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	244人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (瓜田 純久) 任命年月日 平成30年 7月 1日

セイフティーマネジャー 平成19年4月～平成22年1月
 医療の質会議への出席、医療安全管理委員会・安全管理対策委員会への助言

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科
の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	712.3人	4.2人	716.5人
1日当たり平均外来患者数	2,155.4人	72.1人	2,227.5人
1日当たり平均調剤数	1,112.1剤（入院：960.2剤，外来：151.9剤）		
必要医師数	196.807人		
必要歯科医師数	4人		
必要薬剤師数	24人		
必要（准）看護師数	433人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	246.69m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	9床	心電計	○有・無
			人工呼吸装置	○有・無	心細動除去装置	○有・無
			その他の救急蘇生装置	○有・無	ペースメーカー	○有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 34.45 m ² [移動式の場合] 台数 7 台		病床数	1 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32.80 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	615.32m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 医療機器 (生化学自動分析装置)			
細菌検査室	216.56m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 医療機器 (微生物検査装置)			
病理検査室	451.79m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 医療機器 (顕微鏡・切出台)			
病理解剖室	93.84m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 医療機器 (解剖台)			
研究室	74.83m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 研究用機器 (クリーンベンチ、CO2インキュベーター)			
講義室	342.56m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	3 室	収容定員	198 人
図書室	72.21m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	1,300 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.4%	逆紹介率	63.1%
算出根拠	A：紹介患者の数		25,415人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		21,104人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		3,448人
	D：初診の患者の数		33,424人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士（東京弁護士会）		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHK チーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
高松 研	東邦大学 学長 （医師）		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
渡邊 善則	東邦大学 医学部 学部長 （医師）		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	○有・無
委員の選定理由の公表の有無	○有・無

公表の方法

病院ウェブサイトにて公開

<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html>

高度の医療の提供の実績 (2019年度実績)

3 その他の高度の医療

医療技術名:心肺停止症例に対する対応及び蘇生後管理、治療	取扱い患者数 100 人
当該医療技術の概要:東京消防庁のホットライン要請による病院前心肺停止例を24時間体制で受け入れ、二次救命処置による。蘇生術を行い心拍再開例については引続き集中治療を行い完全社会復帰を目標に行っている。低体温療法も適応によって導入している。	
医療技術名:急性肺障害に対するVV-ECMOを用いた管理、治療	取扱い患者数 9 人
人工呼吸器、呼吸理学療法を用いても改善不能な急性呼吸不全に対して、VV-ECMOによる支持療法で薬物療法を併行して行いながら重症ARDSに対して治療をおこなっている。	
医療技術名:敗血症性ショック、心原性ショックにおける体外循環(ECMO、IABP)	取扱い患者数 40 人
敗血症に対してはEGDTによるvolume resuscitationを行い加療している。カテコラミンに反応しない症例に対して機械的補助としてVA-ECMO(PCPS)を導入し治療をしている。また、急性冠症候群、難治性心室細動に対してPCPS、IABPを挿入しCAG、PCI、その後の集中治療管理につなげ社会復帰できるような治療している。	
医療技術名:急性肺障害に対するCHDF療法	取扱い患者数 50 人
敗血症、アレルギー性肺臓炎、重症肺炎などに伴う呼吸不全に対しては根本的な原因に対する治療が必要であるが、呼吸不全の病態を増悪する humoral mediator や endotoxine などの吸着、除去を行いながら水分管理、腎不全管理を行えるCHDFを導入している。	
医療技術名:出血性ショックに対する血管内治療	取扱い患者数 5 人
不安定型骨盤骨折、外傷性脾損傷、腎損傷など外傷を主に血管内治療が可能な損傷に対して気管挿管し呼吸管理をしながら血管内治療を施行し、出血のコントロールをおこなっている。	
医療技術名:新生児の体腔穿刺	取扱い患者数 15 人
新生児気胸に対する脱気、胸水腹水に対するドレナージ治療を行った	
医療技術名:新生児重症心疾患の内科的管理及び外科的治療	取扱い患者数 25 人
チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGEI製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している	
医療技術名:新生児遷延性肺高血圧症における一酸化窒素吸入療法	取扱い患者数 9 人
新生児遷延性肺高血圧症に対し、微量のNOガスを投与した	
医療技術名:肺サーファクタント補充療法	取扱い患者数 35 人
新生児呼吸窮迫症候群に対し、気管内人工肺サーファクタント補充療法を行った	
医療技術名:気管支肺異形成症・気胸予防に対する高頻度振動換気療法	取扱い患者数 20 人
気管支肺異形成症・気胸予防に対し高頻度振動換気療法を行った	
医療技術名:未熟児動脈管開存症に対する薬物的閉鎖療法	取扱い患者数 20 人
未熟児動脈管開存症に対し、心エコー検査で評価した後イブプロフェン、インドメタシン静注療法で閉鎖させた	
医療技術名:臍動静脈カテーテルによる循環の管理	取扱い患者数 8 人
臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した	
医療技術名:新生児重症外科的疾患の治療並びに管理	取扱い患者数 21 人
先天的奇形に基づく、新生児の消化器、呼吸器、体壁などの重症疾患を手術的に救命し、術後の管理を行う	
医療技術名:水頭症に対するリザーバ留置術	取扱い患者数 1 人
出血後水頭症に対し、リザーバ留置による治療を行った	
医療技術名:中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)による高カロリー輸液	取扱い患者数 35 人
中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)を挿入し、高カロリー輸液を実施することにより、低栄養状態を改善させた	
医療技術名:未熟児網膜症に対するレーザーによる光凝固療法・眼内抗VGF抗体注射	取扱い患者数 4 人
重症の未熟児網膜症に対し、眼科と協力してレーザーによる光凝固療法を実施して、失明を予防している	
医療技術名:重症新生児仮死例に対する脳低温療法	取扱い患者数 3 人
重症仮死例に早期より脳低温療法を行い予後の改善をはかる	
医療技術名:胎児(心臓)超音波検査	取扱い患者数 190 人
当該医療技術の概要:胎児心臓超音波検査などにより 正確な胎内診断に基づく出生後の管理につなげた	
医療技術名:低酸素吸入療法(窒素ガス)	取扱い患者数 3 人
肺高血流疾患の術前管理として当該療法により、肺うっ血の進行をコントロールし、術前状態を最適化した。	
医療技術名:重症感染症や早発黄疸に対する交換輸血	取扱い患者数 1 人
重症の感染症や早発黄疸に対する交換輸血で生命予後の改善につなげた	
医療技術名:経胎盤的胎児不整脈治療	取扱い患者数 1 人

高度の医療の提供の実績 (2019年度実績)

3 その他の高度の医療

当該医療技術の概要: 厚労省認定の当該技術により重症胎児不整脈(頻脈性及び徐脈性)を胎内で治療し、その予後改善につなげた	
医療技術名:aEEG(長時間脳波)による新生児けいれんの記録解析	取扱い患者数 5人
当該医療技術の概要: 重症新生児仮死や新生児けいれんに対して発作型や治療効果判定に応用した	
医療技術名:HAL	取扱い患者数 15人
当該医療技術の概要: HAL®(Hybrid Assistive Limb®)は、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる、装着型サイボーグ。人が体を動かそうとすると、その運動意思に従って脳から神経を通じて筋肉に信号が伝わり、その際、微弱な「生体電位信号」が体表に漏れ出していきます。HAL®は、装着者の「生体電位信号」を皮膚に貼ったセンサーで検出し、意思に従った動作を実現する	
医療技術名:気道狭窄に対するステント療法	取扱い患者数 3人
気管・気管支の腫瘍性あるいは炎症性狭窄に対する内視鏡下ステント療法である。	
医療技術名:COPD合併肺癌に対する手術療法	取扱い患者数 17人
一般に積極的治療対象とならないCOPD合併肺癌に対し、肺切除術を安定して行っている。	
医療技術名:ナビゲーションシステムによる頭蓋顎顔面骨の再建	取扱い患者数 40人
先天性疾患や外傷、悪性腫瘍切除等の手術などによる頭蓋顎顔面領域の骨の変形や、欠損は多くが複雑な形状を呈している。術中に再建後の形状をシミュレーションし、整復位置の確認などを行うことにより、よりの確で精度の高い手術が可能となる。	
医療技術名:血管性疾患の治療	取扱い患者数 170人
赤アザ(莓状血管種、単純性血管種)、毛細血管拡張性に対するダイレーザー(Vbeam)治療や、乳児血管種に対するBブロック(ヘマンジオールシロップ)内服治療を行っている。	
医療技術名:超音波カラードブラを用いた皮弁栄養血管の定量的血流解析による再建	取扱い患者数 55人
頭頸部、体幹、四肢など、様々な部位における悪性腫瘍切除後の組織再建において、用いる皮弁の血行形態、動態の解析に超音波カラードブラを用い、術前の適応検討や、術後評価を行っている。	
医療技術名:顎顔面補綴・顎骨支持型補綴装置	取扱い患者数 3人
顎欠損に対する咬合咀嚼回復の手法としての顎義歯・顎骨支持型インプラント義歯の利用	
医療技術名:新生児先天性心疾患の内科的管理および外科的治療	取扱い患者数 10人
新生児期に発症する重症先天性心疾患においては、適切な時期に手術を行うことが可能となるように、より専門的な内科管理が必要である。新生児に対する外科治療では、手術の難易度が高いだけでなく、術中の麻酔も含め、幼児以降の小児患者よりも綿密な管理が必要となってくる。術後においても、新生児の未熟性のために回復が遅く、急激な悪化を示すことが多く、リスクを回避するために、専門医による管理が必須である。	
医療技術名:肺高血圧症における一酸化窒素療法	取扱い患者数 10人
高度の肺高血圧を伴う先天性疾患において、術後に肺高血圧クライゼを来すことがある。この発作は致死的な状態であり、一旦発症すると回復することが困難となる。術後、このクライゼ予防のため、血行動態をより安定化させる必要があり、一酸化窒素療法が重要な治療戦略の一つになっている。適切な投与量をモニタリングしながら、副作用に留意すべき治療であり、専門医による管理が必要である。	
医療技術名:小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル検査	取扱い患者数 50人
小児の先天性心疾患では、体格が小さいことだけではなく、その解剖学的な複雑性から、カテーテル手技の難易度は極めて高い。アクセスする血管が細く、脆弱であるため、高度の技術を要する。また、検査中に呼吸状態や血行動態が不安定になるリスクが高いため、カテーテル術者だけでなく、看護師、技師を含めたチームでの管理が必要になってくる。	
医療技術名:小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療	取扱い患者数 8人
動脈管開存症、肺動脈弁狭窄、肺動脈狭窄などに対する、経皮的コイル塞栓術や経皮的バルーン拡張術を行っている。これらのカテーテル治療では、乳幼児の開心術を回避することができ、先天性心疾患の術後に残存した病変に対しても、再手術を回避することができる。しかし、技術的に難易度が高く、適切な手技と治療デバイスの選択が必要であり、専門医によるのみ行うことが出来る。	
医療技術名:肺高血圧症に対するEpoprostenol持続静注療法	取扱い患者数 10人
小児期に発症した肺高血圧症に対して、Epoprostenol持続静注療法の使用経験は他の施設に比して、当院では多い。100万人に1-2人程度の発症率であるが、専門施設としてより多くの症例の経験を積んでいる。本治療にあたり、埋没型カテーテルの挿入が必要であるが、血行動態が不安定な場合、術中に急変するリスクが高い。このため、麻酔科、外科とも綿密な治療計画を立てて、手術にあっている。持続静注の投与量に関しても副作用に留意しながら、症例毎に適切な投与量を設定する必要があり、専門医による管理が必要である。	
医療技術名:小児難治性白血病に対する集学的治療	取扱い患者数 15人
小児白血病を含む小児がん患者に対して多剤併用化学療法を行う。治療は極めて強力であり、骨髄抑制をはじめとして多岐にわたる有害事象が確実に発生するため、これらへの対応が重要である。治療には小児外科、放射線科、脳神経外科、病理部などの協力が不可欠であり、これらの診療科とのカンファレンスを密に行い、最適な治療を行う。一部の患者では自家造血細胞移植も併用する。	
医療技術名:先天性甲状腺機能低下症の診断と治療	取扱い患者数 50人
新生児マススクリーニングなどで発見された先天性甲状腺機能低下症の患者さんを対象としている。尿中ヨード測定で母体からのヨード過剰の有無、甲状腺超音波検査で形態異常、位置異常の有無を確認し、病態の把握を行っている。その後、成長発達に留意しながら、甲状腺ホルモンの補充療法を行っている。	

高度の医療の提供の実績 (2019年度実績)

3 その他の高度の医療

医療技術名:成長ホルモン治療	取扱い患者数 25 人
成長ホルモン治療の保険適応がある、成長ホルモン分泌不全、ターナー症候群、SGA性低身長症、軟骨異栄養症などの患者さんを対象にしている。必要に応じて、他のホルモン分泌不全の評価、成長ホルモン分泌刺激試験や、頭部MRI、合併する疾患の有無を確認した後、副作用などに留意して、成長ホルモン治療を行っている。	
医療技術名:腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)	取扱い患者数 4 人
肝疾患に対する腹腔鏡下肝切除(亜区域切除以上の系統的切除、外側区域切除を除く)は厳格な施設基準の下、術前の前向き症例登録を行うことでの施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。	
医療技術名:腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)	取扱い患者数 8 人
膵臓癌に対する腹腔鏡下膵切除(リンパ節郭清を伴う遠位膵切除)は厳格な施設基準の下、施行が許されている高難度肝胆膵手術(保険診療)である。	
医療技術名:経カテーテル的大動脈弁置換術	取扱い患者数 14 人
超高齢者、重度基礎疾患、胸部大動脈高度石灰化を有するなど、人工心肺を用いた通常の開胸手術に耐えられない症例にたいし、人工心肺を用いず鼠径部の動脈を経由し経カテーテル的に行う大動脈弁置換術。	
医療技術名:複雑心奇形に対する低侵襲外科手術	取扱い患者数 12 人
重度心不全状態の複雑心奇形症例に対し、小切開および充填量が極めて少ない人工心肺装置を用いて生体侵襲を低減し、手術成績の向上を図っている。	
医療技術名:新生児重症心疾患の内科的管理及び外科治療	取扱い患者数 3 人
チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGE1製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している。	
医療技術名:当該医療技術の概要:筋萎縮性側鎖硬化症患者に対するロボットリハビリ(HAL)	取扱い患者数 10 人
2018年8月より、筋萎縮性側鎖硬化症患者に対してHybrid assisted limb (HAL)というロボットスーツを用いた治療をリハビリテーション科と共同で行っている。	
医療技術名:レボドパ・カルピドパ配合経腸用液の経胃瘻空腸投与	取扱い患者数 2 人
パーキンソン病患者に対して、レボドパ・カルピドパ水和物製剤を経胃瘻空腸投与することを目的とした、経鼻栄養・薬剤投与チューブ挿入術、薬剤投与用胃瘻造設術、およびチューブ交換時の経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法	
医療技術名:腎移植	取扱い患者数 30 人
当科は2020年3月で、腎移植1000例を超えた。回流型不適合移植、二次移植など免疫学的ハイリスク症例の移植も行っている。	
医療技術名:小児腎移植	取扱い患者数 20 人
当科は、小児腎移植数では国内1位の成績と症例数をもつ。10kg未満の小児、様々な尿路奇形に対して、ハイリスク症例の移植を行い、小児の成長発達に寄与している。	
医療技術名:血液浄化	取扱い患者数 6000 人
当科は、のべ6000例の血液浄化数を持ち、血漿交換も多く行い、潰瘍性大腸炎、類天疱瘡、ギランバレー症候群の疾患にも対応している。	
医療技術名:人工膵臓(グルコースクランプ検査)	取扱い患者数 32 人
インスリンを持続的に注入し、同時にグルコースを注入し続けて、肝臓や筋肉のインスリン抵抗性(感受性)を調べる検査。	
医療技術名:フラッシュ血糖モニターFGM (Flush Glucose Monitoring)	取扱い患者数 40 人
皮下組織に専用のセンサを装着して、連続的に皮下のグルコース(ブドウ糖)濃度を記録し、非接触型リーダーによって血糖を確認できる技術。	
医療技術名:SAP (Sensor Augmented Pump) 療法	取扱い患者数 18 人
パーソナル持続血糖モニター機能を搭載したインスリンポンプ療法。	
医療技術名:三次元合成画像を用いた手術シミュレーション	取扱い患者数 30 人
頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成し、各症例の手術方法に応じて、骨切りや脳のリトラクを行い、術前手術シミュレーションを行った。これにより、手術操作の円滑化、他医師およびメディカルスタッフとの情報共有を図った。	
医療技術名:3Dプリンターによる実体モデルを用いた手術シミュレーション	取扱い患者数 15 人
前述の三次元合成画像の作成方法と同様に、頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成したのち、頭蓋底腫瘍など、特に解剖学的所見の立体的特徴の把握が重要な症例には、3Dプリンターで実体模型を作製し、術前シミュレーションを行った。また、必要に応じて研究室内の手術用顕微鏡およびドリルを用いて、実際の手術手技を行った。	
医療技術名:術中脳機能モニタリング	取扱い患者数 50 人
脳腫瘍や未破裂脳動脈瘤の手術のほとんどで、術中モニタリングとして、MEP、SEPを行った。また年間15例ほど手術を行っている脊髄腫瘍では、MEP、SEPとともに、積極的にBCRを行い、膀胱直腸障害のモニタリングを行った。	
医療技術名:神経内視鏡手術	取扱い患者数 5 人
神経内視鏡として硬性鏡、軟性鏡を用いて、下垂体腺腫の手術を行った。また、脳内血腫に対しても応用を開始している。	
医療技術名:冠動脈ステント	取扱い患者数 493 人

高度の医療の提供の実績 (2019年度実績)

3 その他の高度の医療

<p>現在冠動脈インターベンション(PCI)の中心的治療法であり、当施設では約90%において本治療法が選択されている。冠動脈内に筒状の金属を留置する方法であり数種類のステントが臨床使用されている。</p>	
医療技術名: 血栓吸引療法	取扱い患者数 61人
<p>冠動脈の閉塞病変において血栓を機械的に吸引し、末梢塞栓を防ぐ方法である。単純に血栓を吸引する方法とバルーンを拡張させてその末梢の血栓を吸引するdistal protection deviceに分けられる。後者は末梢塞栓が問題となる変性静脈グラフト病変の待機治療においても極めて有効である。</p>	
医療技術名: ロータブレード	取扱い患者数 24人
<p>冠動脈病変を機械的に取り除くアブレーションに属する治療である。先端にダイヤモンドチップを散りばめたバーの高速回転(毎分15-20万回転)により病変を破碎し、末梢に洗い出す。透析患者などで高度石灰化病変では有効であり、学会が認定する施設基準に基づいて本治療法が実施されている。</p>	
医療技術名: カテーテルアブレーション	取扱い患者数 274人
<p>経皮的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、体表に装着した対極板とのあいだで高周波通電を行い、頻拍の原因となる異常興奮発生部位、異常興奮回路・伝導路を選択的に焼灼する治療法である。発作性上室頻拍、心房粗動、心房細動、心室頻拍など頻脈性不整脈に対する根治目的で実施されている。</p>	
医療技術名: 植込み型除細動器(ICD)	取扱い患者数 11人
<p>心室細動や心室頻拍などの心室性不整脈による心臓突然死の予防目的で実施される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。心肺蘇生経験例のみならず、心臓突然死の危険性があると判断された患者においても使用される。</p>	
医療技術名: 心臓再同期療法(CRT)・除細動機能付き心臓再同期療法(CRT-D)	取扱い患者数 4人
<p>薬剤抵抗性の重症心不全患者に対して適応があり、心機能の改善目的で使用される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。同時に不整脈性の心臓突然死をきたす可能性がある患者では、除細動機能付きのデバイスが使用される。</p>	
医療技術名: 関節リウマチ及び膠原病に対する免疫抑制薬の適正使用	取扱い患者数 600人
<p>種々の免疫抑制薬が関節リウマチ及び全身性エリテマトーデスなどの膠原病に対して使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。</p>	
医療技術名: 関節リウマチ及び膠原病諸疾患に対する生物学的製剤の適正使用	取扱い患者数 350人
<p>TNF阻害薬などの生物学的製剤が、関節リウマチや、全身性エリテマトーデス、血管炎候群、ベーチェット病、成人発症Still病、強直性脊椎炎などの膠原病諸疾患に使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。</p>	
医療技術名: 強度変調放射線治療(IMRT)	取扱い患者数 70人
<p>当該医療技術の概要: 逆方向治療計画(インバースプラン)に基づき、空間的、時間的に不均一な放射線強度を持つ照射ビームを多方向から照射することにより、病巣部に最適な線量分布を得る放射線治療法である。</p>	
医療技術名: 画像誘導放射線治療(IGRT)	取扱い患者数 225人
<p>毎回の照射時に治療計画時と照射時の照射中心位置の三次元的な空間的再現性が5ミリメートル以内であることを照射室内で画像的に確認・記録して照射する治療である。</p>	
医療技術名: 腹腔鏡下手術	取扱い患者数 479人
<p>腹腔鏡下支給付属器癒着剥離術・腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下卵管全摘除術・腹腔鏡下子宮卵管留血腫手術・腹腔鏡下子宮外妊手術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出術・腹腔鏡下子宮全摘出術・子宮鏡下子宮筋腫摘出術</p>	
医療技術名: 胎児治療	取扱い患者数 52人
<p>内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術・胎児胸腔羊水シャント術</p>	
医療技術名: 高度生殖補助医療	取扱い患者数 821人
<p>採卵・胚移植</p>	
医療技術名: 婦人科悪性腫瘍手術	取扱い患者数 99人
<p>子宮付属器悪性腫瘍手術・円錐切除術</p>	
医療技術名: ロボット補助下腹腔鏡膀胱全摘除術	取扱い患者数 9人
<p>保険適応にはなっているが、まだまだ実施施設が全国に普及している術式ではない</p>	
医療技術名: ロボット補助下腹腔鏡腎部分切除術	取扱い患者数 25人
<p>保険適応になりダビンチ保有施設では普及しつつあるが、通常の腹腔鏡下腎部分切除術より難易度の高い症例が選択される傾向がある。</p>	
医療技術名: 自己筋膜を用いた膀胱脱手術	取扱い患者数 7人
<p>手術そのものはsling手術と同じだが、異物(メッシュ)を用いず、自己筋膜を用いるという東邦(永尾教授)オリジナルな術式である。</p>	
医療技術名: 重症自己免疫水疱症の集学的治療	取扱い患者数 5人

高度の医療の提供の実績 (2019年度実績)

3 その他の高度の医療

重症天疱瘡、類天疱瘡に対し、ステロイド大量療法が効果不十分である場合に、免疫抑制療法、血漿交換療法、大量免疫グロブリン静注療法を行い効果を上げている。	
医療技術名:パッチテスト	取扱い患者数 6 人
当科では、スタンダードシリーズによる抗原検索のみならず、成分分析に基づく成分パッチテストを施行し、より詳細な原因特定を行い、患者さんのみならず社会にアレルゲンの動向を追究することにより貢献している。	
医療技術名:先天性表皮水疱症の超微細形態学的病型診断	取扱い患者数 5 人
先天性表皮水疱症は、本邦で1,000人程度の患者数の稀な疾患である。生検皮膚を用いたモノクローナル抗体による蛋白発現の検索および電子顕微鏡による超微細形態観察による病型診断を行っている。	
医療技術名:加算的平均心電図(LP)	取扱い患者数 73 人
心室細動、心室頻拍、発作性心房細動などの重症不整脈が出現する可能性を診断するために、心房、心室の遅延電位を計測する。	
医療技術名:超音波造影剤(リナゾイド/レボピスト)を用いた超音波検査	取扱い患者数 1,231 人
超音波造影剤(リナゾイド/レボピスト)を用いた消化器系腫瘍の質的診断と腫瘍凝固療法等の治療後効果判定やびまん性肝疾患(肝炎・肝硬変)の進行度評価法の検討。	
医療技術名:超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での肝腫瘍治療	取扱い患者数 33 人
超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での経皮的肝腫瘍の治療。	
医療技術名:睡眠障害に対する終夜睡眠ポリグラフ検査	取扱い患者数 130 人
終夜約8時間の脳波を含むポリグラフ記録を行い、不眠、過眠などの睡眠障害および睡眠随伴性の診断を行う。	
医療技術名:術中脳脊髄機能モニタリングとしてABR,SSEP,MEPの誘発電位記録	取扱い患者数 97 人
ABR,SSEP,MEPの誘発電位記録を脳脊髄手術中に行い術後の神経欠落症状の出現を防ぐ。	
医療技術名:経食道心臓超音波検査(テポテ中含む)	取扱い患者数 379 人
先天性疾患、弁膜症、人工弁置換術後、左心耳内血栓など通常の経胸壁エコー検査では、詳細な情報が得られない場合、経食道的アプローチは有用となる。	
医療技術名:睡眠潜時反復測定法(MSLT)	取扱い患者数 6 人
客観的な日中の過度の眠気測定、特にナルコレプシーの補助診断のため、脳波記録を2時間ごとに繰り返し行い、眠りにつくまでの時間とそれに伴う臨床症状を記録する。	
医療技術名:光トポグラフィー	取扱い患者数 147 人
うつ症状における原因疾患の鑑別、脳神経外科術前における言語優位半球の同定、てんかん焦点の推定に有用。	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	59
2	筋萎縮性側索硬化症	43	57	特発性拡張型心筋症	28
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	7
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	12	60	再生不良性貧血	27
6	パーキンソン病	134	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	41
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	76	66	IgA腎症	19
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	31
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	51	68	黄色靱帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	8	69	後縦靱帯骨化症	49
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロー・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	30
17	多系統萎縮症	13	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	15	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病		74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー		75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	15	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	38
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症		81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	4	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	33
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	122
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	39
32	自己食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	18
34	神経線維腫症	2	89	リンパ管筋腫症	1
35	天疱瘡	12	90	網膜色素変性症	28
36	表皮水疱症	21	91	バッド・キアリ症候群	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	5	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	47
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	31
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	69
42	結節性多発動脈炎	10	97	潰瘍性大腸炎	192
43	顕微鏡的多発血管炎	34	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	16	101	腸管神経節細胞減少症	
47	バージャー病	4	102	ルピシユタイン・ティビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	279	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	93	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	86	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	37	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	51	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病	25	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	1	161 家族性良性慢性天疱瘡	
112 マリネスコ・シェーグレン症候群		162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113 筋ジストロフィー	11	163 特発性後天性全身性無汗症	
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164 眼皮膚白皮症	1
115 遺伝性周期性四肢麻痺		165 肥厚性皮膚骨膜炎	
116 アトピー性脊髄炎		166 弾性線維性仮性黄色腫	
117 脊髄空洞症		167 マルフアン症候群	2
118 脊髄髄膜瘤		168 エーラス・ダンロス症候群	
119 アイザックス症候群		169 メンケス病	
120 遺伝性ジストニア		170 オクシピタル・ホーン症候群	
121 神経フェリチン症		171 ウィルソン病	6
122 脳表ヘモジデリン沈着症		172 低ホスファターゼ症	
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173 VATER症候群	1
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		174 那須・ハコラ病	
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		175 ウィーバー症候群	
126 ベリー症候群		176 コフィン・ローリー症候群	
127 前頭側頭葉変性症	1	177 有馬症候群	
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎		178 モワット・ウィルソン症候群	
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症		179 ウィリアムズ症候群	1
130 先天性無痛無汗症		180 ATR-X症候群	
131 アレキサンダー病		181 クルーゾン症候群	
132 先天性核上性球麻痺		182 アペール症候群	
133 メビウス症候群		183 ファイファー症候群	
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184 アントレー・ピクスラー症候群	
135 アイカルディ症候群		185 コフィン・シリス症候群	
136 片側巨脳症		186 ロスモンド・トムソン症候群	
137 限局性皮質異形成		187 歌舞伎症候群	
138 神経細胞移動異常症		188 多脾症候群	
139 先天性大脳白質形成不全症		189 無脾症候群	
140 ドラベ症候群		190 鰓耳腎症候群	
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191 ウェルナー症候群	
142 ミオクロニー欠伸てんかん		192 コケイン症候群	
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193 プラダー・ウィリ症候群	
144 レノックス・ガストー症候群		194 ソトス症候群	
145 ウエスト症候群		195 ヌーナン症候群	
146 大田原症候群		196 ヤング・シンプソン症候群	
147 早期ミオクロニー脳症		197 1p36欠失症候群	
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198 4p欠失症候群	
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199 5p欠失症候群	
150 環状20番染色体症候群		200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151 ラスムッセン脳炎		201 アンジェルマン症候群	
152 PCDH19関連症候群	1	202 スミス・マギニス症候群	
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203 22q11.2欠失症候群	
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204 エマヌエル症候群	
155 ランドウ・クレフナー症候群		205 脆弱X症候群関連疾患	
156 レット症候群		206 脆弱X症候群	
157 スタージ・ウェーバー症候群		207 総動脈幹遺残症	
158 結節性硬化症	2	208 修正大血管転位症	1
159 色素性乾皮症		209 完全大血管転位症	1
160 先天性魚鱗癬	1	210 単心室症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群		259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症		262	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症		263	脳髄黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病		265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	
219	ギャロウェイ・モワト症候群		267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎		269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群	53	270	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)		274	骨形成不全症	
227	オスラー病		275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎		276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーラム病	
230	肺胞低換気症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症		283	後天性赤芽球癆	
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		285	ファンconi貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		287	エプスタイン症候群	2
240	フェニルケトン尿症		288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型		289	クローンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型		291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	
244	メーブルシロップ尿症		292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症		293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	イノキサ酸血症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型		297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型		298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症		299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症		300	IgG4関連疾患	8
253	先天性葉酸吸収不全		301	黄斑ジストロフィー	
254	ボルフィリン症		302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		303	アッシャー症候群	
256	筋型糖原病		304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病		305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306	好酸球性副鼻腔炎	28

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病		319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	
308	進行性白質脳症		320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
309	進行性ミオクローヌステんかん		321	非ケトーシス型高グリシン血症	
310	先天異常症候群		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
311	先天性三尖弁狭窄症		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312	先天性僧帽弁狭窄症		324	メチルグルタコン酸尿症	
313	先天性肺静脈狭窄症		325	遺伝性自己炎症疾患	
314	左肺動脈右肺動脈起始症		326	大理石骨病	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316	カルニチン回路異常症		328	前眼部形成異常	1
317	三頭酵素欠損症		329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症		330	先天性気管狭窄症	
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	3
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・特定機能病院入院基本料(一般7対1、精神13対1)	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・急性期看護時補助体制加算(25対1 5割以上)
・看護職員夜間配置加算(12対1 配置加算1)	・看護補助加算2(精神:13対1)
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1・2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・抗菌薬適正使用支援加算	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・データ提出加算2	・入退院支援加算
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料3・4
・特定集中治療室管理料2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・総合周産期特定集中治療室管理料1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・小児入院医療管理料1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来栄養食事指導料
・喘息治療管理料	・心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)
・糖尿病合併症管理料	・がん性疼痛緩和指導管理料
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・地域連携小児夜間・休日診療料2	・地域連携夜間・休日診療料
・院内トリアージ実施料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・がん治療連携計画策定料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2
・薬剤管理指導料	・医療安全管理料1・2・歯科
・精神科退院時共同指導料1及び2	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
・在宅血液透析指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・在宅持続陽圧呼吸療法指導官吏料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下
・遺伝学的検査	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・骨髄微小残存病変量測定	・BRCA1/2遺伝子検査
・がんゲノムプロファイリング検査	・先天性代謝異常症検査
・検体検査管理加算(1)(4)	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・国際標準検査管理加算
・遺伝カウンセリング加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胎児心エコー法
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ヘッドアップティルト試験
・人工臓器検査、人工臓器療法	・長期継続頭蓋内脳波検査
・脳波検査判断料1	・光トポグラフィー
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・神経学的検査
・ロービジョン検査判断料	・小児食物アレルギー負荷検査

・内服・点滴誘発試験	・画像診断管理加算1・2
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料 (1)
・脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)	・運動器リハビリテーション料 (1)
・呼吸器リハビリテーション料 (1)	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る）	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノール局所注入（甲状腺）（副甲状腺）
・人工腎臓	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）
・CAD/CAM冠	・センチネルリンパ節加算
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）	・骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術に限る）
・後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・椎間板内酵素注入療法
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）（過活動膀胱）	・角膜移植術（内皮移植加算）
・羊膜移植術	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型（拡大副鼻腔手術）
・喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの）
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）（乳がんセンチネルリンパ節生検（併用）（センチネルリンパ節生検（併用））に限る）	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）（センチネルリンパ節生検（併用））に限る）
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る）
・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・胸腔鏡下弁形成術	・経カテーテル大動脈弁置換術

・胸腔鏡下弁置換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極）
・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極除去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・補助人工心臓	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・体外衝撃波膵石破碎術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・同種死体腎移植術
・生体腎移植術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・胎児輸血術	・輸血管管理料1
・輸血適正使用加算	・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
・遺伝性乳がん卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術（用手法）	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料（1）（2）	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療（IMRT）
・画像誘導放射線治療（IGRT）	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算

・口腔病理診断管理加算2	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・無菌製剤処理加算	・

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
(研究費補助に関する調査について(2019年度実績))

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:千円)	補助元又委託元
1	新生児低酸素性虚血性脳症の生物学的マーカーの実用化に向けた臨床研究	與田仁志	新生児科	500	日本医療研究開発機構 平成30年度「成育疾患克服等総合研究事業—BIRTHDAY」
2	乳児における母乳型脂質摂取の評価	與田仁志	新生児科	2,000	糧食研究会
3	呼吸感覚モジュレーションを応用した間質性肺炎予後改善呼吸リハビリテーションの開発	海老原 覚	リハビリテーション科	4,550	日本学術振興会
4	島皮質可塑性に着目した感覚記憶リハーサルによる味覚障害リハビリテーション法の開発	海老原 覚	リハビリテーション科	2,210	日本学術振興会
5	未熟児網膜症に対する新しい非侵襲的眼血流測定	松本 直	眼科	1,300	文科省科研費
6	角膜知覚および眼表面温度が寄与するオクチャーサーフェスの恒常性維持システム	堀 裕一	眼科	1,430	文科省科研費
7	肺換気能のマッピングにより可視化と定量化を可能とする検査の	本多満	総合診療救急	900	日本学術振興会 科学研究費
		一林亮	総合診療救急	100	日本学術振興会 科学研究費
8	骨髄間葉系前駆細胞を用いた次世代型血管新生療法の基礎的解析	八田 信(兼任)	形成外科	1,000	補 文部省科学研究費
9	bFGF誘導性の癒痕抑制microRNAの探索と標的核酸治療法開発の基礎研究	大西 清(分担)	形成外科	200	補 文部省科学研究費
10	Ex vivo増幅性血管新生Fibrocyteを用いた新規血管新生療法の開発	中道美保(兼任)	形成外科	1,050	補 文部省科学研究費
11	間葉系幹細胞を標的化するmicroRNAによる包括的な癒痕抑制法開発の基盤形成	大西 清(分担)	形成外科	100	補 文部省科学研究費
12	間葉系幹細胞を標的化するmicroRNAによる包括的な癒痕抑制法開発の基盤形成	中道美保(分担)	形成外科	100	補 文部省科学研究費
13	検証された評価基準を用いた口腔トリアージ法による手術周術期口腔管理の肺炎予防効果	関谷秀樹	口腔外科	4,290	独立行政法人日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究C

(様式第3(-1))

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
(研究費補助に関する調査について(2019年度実績))

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:千円)	補助元又委託元
14	胆汁酸取り込みによる白血病細胞の悪性度評価と胆汁酸取り込み阻害による新抗腫瘍薬開発のための基盤研究	羽賀洋一	小児科	100	公益財団法人 がんの子どもを守る会
15	胆汁酸取り込みによる白血病細胞の悪性度評価と胆汁酸取り込み阻害による新抗腫瘍薬開発のための基盤研究	羽賀洋一	小児科	300	平成30年東邦大学創立60周年記念学術振興基金
16	酸化ストレス性細胞死抑制因子を指標とした神経変性疾患のバイオマーカーの同定	狩野 修	脳神経内科	1,170	文科省科研費
17	高齢腎不全患者に対する腎代替療法の開始/見合わせの意思決定プロセスと最適な緩和医療・ケアの構築	酒井謙 小口英世	腎臓学 腎臓学	1,689	AMED
18	マージナルドナー腎移植の安全性に関する新規エビデンス創出	酒井謙 小口英世	腎臓学 腎臓学	260	AMED
19	臓器移植の免疫寛容における制御性T細胞に制御される臓器特異的抗原の探索	篠田和伸	腎臓学	2,730	科研費
20	糖尿病患者の生活の質を高める睡眠介入法の検討	弘世貴久	糖尿病・代謝・内分泌センター	1,200	補 日本学術振興会
21	微小音響圧による皮下組織3次元マッピング	内野泰	糖尿病・代謝・内分泌センター	100	補 日本学術振興会
22	脂肪との共存を実現する糖尿病抑制策の探求	熊代尚記	糖尿病・代謝・内分泌センター	5,000	補 日本学術振興会
23	睡眠障害による肝脂肪蓄積を標的としたインスリン抵抗性の病態解明	鳴山文華	糖尿病・代謝・内分泌センター	1,000	補 日本学術振興会
24	3Dプリンターによる立体模型を用いた脳神経外科手術教育システムの確立(基盤研究(C)一般80287515)	周郷延雄	脳神経外科	0	文科省科研費
25	3Dプリンターによる立体模型を用いた脳神経外科手術教育システムの確立(基盤研究(C)一般80287515)	近藤康介	脳神経外科	0	文科省科研費
26	3Dプリンターによる立体模型を用いた脳神経外科手術教育システムの確立(基盤研究(C)一般80287516)	根本匡章	脳神経外科	0	文科省科研費

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
(研究費補助に関する調査について(2019年度実績))

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:千円)	補助元又委託元
27	関節リウマチにおける単球系細胞に対するフラクタルカインの関与の解明	代表:南木敏宏	膠原病科	1,430	科学研究費補助金(基盤研究C)
28	上皮バリア機構の不全により生じる疾患の克服を目指した事業	分担:南木敏宏 代表:中野裕康	膠原病科 生化学	2,000	私立大学研究ブランディング事業
29	難治性血管炎に関する調査研究	分担:南木敏宏 代表:針谷正祥	膠原病科 東京女子医科大学	60	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))
30	関節リウマチに伴う間質性肺炎の病態解明と新規治療開発	分担:村岡成	膠原病科	1,600	科学研究費補助金(若手研究)
31	18F FDG PET炎症イメージングを用いた新たな動脈硬化の予後予測指標の開発	中西理子	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	4,290	平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 補委
32	血管弾性からみた心不全の病態解明と再入院軽減に向けた新たな予防法の開発	木内俊介	東邦大学 医学部(内科学講座循環器内科学分野)	4,290	平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般)) 補委
33	「卵巣癌・腹膜癌・卵管癌における腎静脈より頭側の高位傍大動脈リンパ節転移実態の解明」	小宮山慎一	産婦人科		文部科学省 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 課題番号18K09302
34	骨髄間葉系幹細胞動員活性化に	石河 晃	皮膚科	200	補 日本医療研究開発機構
35	稀少難治性皮膚疾患に関する	石河 晃	皮膚科	500	補 厚生労働省
36	落葉状天疱瘡自己抗体解析に	石河 晃	皮膚科	2,000	補 平成29年度私立大学戦略
37	上皮バリア機能の不全により生じ	石河 晃	皮膚科	2,000	私立大学研究ブランディング事
38	新規の天疱瘡抗体病的活性測定方による水疱形成機序の解析	石井 健	皮膚科	1,400	JSPS 科研費・基盤C

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。
4. 記入用紙が足りない場合は、この用紙をコピーしてご使用下さい。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
1	Ogino A†, Onishi K†, Nakamichi M†, Okaneya T†	医学部 医学科 形成外科学講座	Use of Parotid Gland Fascia in the Prevention of Frey Syndrome After Parotidectomy.	he Journal of Craniofacial Surgery	30	4	1009	1011	2019	1
2	Nakamichi M†, Ogino A†, Onishi K†	医学部 医学科 形成外科学講座	Less invasive treatment for the pilonidal sinus combined use of negative-pressure wound therapy. European Journal of Plastic Surgery	European Journal of Plastic Surgery			doi.org/10.1007/s00238-019-01560-8		2019	1
3	Komiyama S, Nagashima M, Taniguchi T, Yokouchi Y, Kugimiyama T.	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Ovarian Clear Cell Carcinoma Detected During Long-Term Management of Endometriotic Cysts in Young Patients: Possible Heterogeneity of this Tumor.	Gynecol Obstet Invest.	84	3	305	312	2019	1
4	Tanaka S, Kawaguchi Y, Kubo S, Kanazawa A, Takeda Y, Hirokawa F, Nitta H, Nakajima T, Kaizu T, Kaibori M, Kojima T, Otsuka Y†, Fuks D, Hasegawa K, Kokudo N, Kaneko H†, Gayet B, Wakabayashi G	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Validation of index-based IWATE criteria as an improved difficulty scoring system for laparoscopic liver resection.	Surgery	165	4	731	740	2019-04	1
5	Hara M†, Kawasaki M, Tokuhiko K, Kameda T†, Nunoi Y†, Watanabe Y†	医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野 (大森), 医学部 医学科 薬理学講座	Leaflet tear of Trifecta bioprosthesis.	Heart, lung & circulation	28	4	660	661	2019-04	1
6	Shinichi Komiyama †, Masaru Nagashima †, Tomoko Taniguchi †, Takayuki Rikitake, Mineto Morita †	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Bevacizumab Plus Direct Oral Anticoagulant Therapy in Ovarian Cancer Patients with Distal Deep Vein Thrombosis.	Clinical drug investigation	39	4	395	400	2019-04	1
7	Nagasaki S, Nakata M, Takano M, Usui K, Sakuma J, Hayata E, Morita M	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Feasibility of automated fetal fractional shortening measurement with two-dimensional tracking and construction of a reference range for normal fetuses.	Journal of Medical Ultrasonics	46	4	467	472	2019-04	1
8	Masaru Nagashima, Naofumi Miwa, Hajime Hirasawa, Yukiko Katagiri, Ken Takamatsu, Mineto Morita	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Genome-wide DNA methylation analysis in obese woman predicts an epigenetic signature for future endometrial cancer	Scientific Reports	9	1	1	9	2019-04	1
9	Hironichi Hamada, Hiroyuki Suzuki, Yoshihiro Onouchi*, Ryota Ebata, Masaru Terai, Shigeto Fuse, Yoshitomo Okajima, Shunji Kurotobi, Katsuki Hirai, Takashi Soga, Yukiko Ishiguchi, Yoshiaki Okuma, Nobuyuki Takada, Masaaki Yanai, Junichi Sato, Mami Nakayashiro, Mamoru Ayusawa, Eiichi Yamamoto, Yuichi Nomura, Yuuya Hashimura, Kazunobu Ouchi, Hiroshi Masuda, Shinichi Takatsuki, Keiichi Hirono, Tadashi Ariga, Takashi Higaki, Akio Otsuki, Moe Terauchi, Reiko Aoyagi, Takatoshi Sato, Yasuhisa Fujii, Tadami Fujiwara, Hideki Hanaoka, Akira Hata	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Efficacy of primary treatment with immunoglobulin plus ciclosporin for prevention of coronary artery abnormalities in patients with Kawasaki disease predicted to be at increased risk of non-response to intravenous immunoglobulin (KALICA): a randomised controlled, open-label, blinded-endpoints, phase 3 trial	LANCET		393	1128	1137	2019-04	1
10	Hashimoto J†, Hamasaki Y*†, Takahashi Y†, Kubota M†, Yanagisawa T†, Itabashi Y†, Muramatsu M†, Kawamura T†, Kumagai N, Ohwada Y, Sakai K†, Shishido S†	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Management of patients with severe estein syndrome: Review of four patients who received living-donor renal transplantation.	Nephrology (Carlton, Vic.)	24	4	450	455	2019-04	1
11	Masato Tashiro, Takahiro Takazono, Tomomi Saijo, Kazuko Yamamoto, Yoshifumi Imamura, Taiga Miyazaki, Hiroshi Kakeya, Tsunehiro Ando, Kenji Ogawa, Kazuma Kishi†, Issei Tokimatsu, Yuta Hayashi, Satoru Fujiuchi, Katsunori Yanagihara, Yoshitsugu Miyazaki, Kiyoshi Ichihara, Hiroshi Mukae, Shigeru Kohno, and Koichi Izumikawa.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Selection of oral antifungals for initial maintenance therapy in chronic pulmonary aspergillosis: A longitudinal analysis.	Clinical Infectious Diseases			-	-	2019-04	1
12	Shuhei Moriguchi, Hironori Uruga, Takeshi Fujii, Yoichi Yasunaga, Yui Takahashi, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Transformation of epidermal growth factor receptor T790M mutation-positive adenocarcinoma of the lung to small cell carcinoma and large-cell neuroendocrine carcinoma following osimertinib therapy: an autopsy case report.	Respirology Case Reports	7	3	3-	-	2019-04	1
13	Rine Nakanishi†, Jamal S Rana.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Coronary Artery Calcium and Multisite Atherosclerosis: Role in Risk Refinement	American College of Cardiology	214	2	436	441	2019-04	2
14	©Koike H†, Morita T†, Tatebe J†, Watanabe I†, Koike M†, Yao S†, Shinohara M†, Yuzawa H†, Suzuki T†, Fujino T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床検査医学講座 (大森)	The relationship between serum indoxyl sulfate and the renal function after catheter ablation of atrial fibrillation in patients with mild renal dysfunction	Heart and vessels			doi: 10.1007/s00380-018-1288-0		2019-04	1
15	Taisuke Suyama, Shigeki Kanbe, Masanobu Maegawa, Hirofumi Shimizu, Koichi Nakajima	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	prognostic significance of inflammation-based prognostic scoring in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma	International Brazilian Journal of Urology	45		1	8	2019-04	1
16	Kayoko Suzuki, Akiko Yagami, Akiko Ito, Hironori Kanto†, Kayoko Matsumaga	医学部 皮膚科学講座	Response to Hamann et al.	CONTACT DERMATITIS	81		157	157	2019-05	1
17	Kondo K, Nemoto M (BQ), Harada N, Masuda H, Ando S, Kubota S, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森)	3-Dimensional printed model for surgical simulation of combined transpetrosal approach	World Neurosurgery	127		doi: 10.1016/j.wneu.2019.03.219.		2019-05	1
18	Masuda H, Nemoto M, Kondo K, Ando S, Ueda K, Node Y, Harada N, Sugo N	医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森)	Comparison of quantitative measurements of central nervous system tumour consistency and the associated preoperative imaging findings.	British Journal of Neurosurgery	33	5		522	2019-05	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
 高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
19	Seiji Takagi 1 2, Shigeki Kudo 3, Hideo Yokota 3 4, Masahiro Akiba 3 5, Michiko Mandai 6 7, Yasuhiko Hirami 6 7, Masayo Takahashi 6 7, Yasuo Kurimoto 7, Masahiro Ishida 8	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部医学科臨床支援室	Assessment of the Deformation of the Outer Nuclear Layer in the Epiretinal Membrane Using Spectral-Domain Optical Coherence Tomography	BMC Ophthalmology	19	1	113		2019-05	1
20	Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Mayumi Takano†, Nahomi Uemura†, Sumito Nagasaki†, Ayako Oji†, Toshimitsu Maemura†, Yukiko Katagiri†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Safety of uterine fundal pressure maneuver during second stage of labor in a tertiary perinatal medical center: A retrospective observational study	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology	58	3	375	379	2019-05	1
21	Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Ayako Oji†, Mayumi Takano†, Sumito Nagasaki†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Sonographic diagnosis of vasa previa using four-dimensional spatiotemporal image correlation	Ultrasound in obstetrics & gynecology : the official journal of the International Society of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology	53		701	702	2019-05	3
22	Mayumi Takano†, Masahiko Nakata†, Takayuki Rikitake†, Sumito Nagasaki†, Eijiro Hayata†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Successful use of fetoscopic laser surgery as treatment for a mono chorionic - triamniotic triplet pregnancy complicated by twin - reversed arterial perfusion sequence and severe selective fetal growth restriction: A case report	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	45	8	1584	1587	2019-05	3
23	©Shima Y, Nakanishi K, Sako M, Saito-Oba M, Hamasaki Y, Hataya H, Honda M, Kamei K, Ishikura K, Ito S, Kaito H, Tanaka R, Nozu K, Nakamura H, Ohashi Y, Iijima K, Yoshikawa N; Japanese Study Group of Kidney Disease in Children (JSKDC).	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Lisinopril versus lisinopril and losartan for mild childhood IgA nephropathy: a randomized controlled trial (JSKDC01 study).	Pediatric Nephrology	34	5	837	846	2019-05	1
24	Muramatsu M, Mizutani T, Hamasaki Y, Takahashi Y, Iitabashi Y, Kubota M, Hashimoto J, Oguchi H, Sakurabayashi K, Hyodo Y, Shinoda K, Kawamura T, Sakai K, Shishido S.	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Transplantation of adult-size kidneys in small pediatric recipients: A single-center experience	Pediatric Transplantation	23	4	e13401		2019-05	1
25	Noriyuki Enomoto, Ryoko Egashira, Kazuhiro Tabata, Mikiko Hashisako, Masashi Kitani, Yuko Waseda, Tamotsu Ishizuka, Satoshi Watanabe, Kazuo Kasahara, Shinyu Izumi, Akira Shiraki, Atsushi Miyamoto, Kazuma Kishi†, Tomoo Kishaba, Chikatosi Sugimoto, Yoshikazu Inoue, Kensuke Kataoka, Yasuhiro Kondoh, Yutaka Tsuchiya, Tomohisa Baba, Hiroaki Sugiura, Tomonori Tanaka, Hiromitsu Sumikawa & Takafumi Suda	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Analysis of systemic lupus erythematosus-related interstitial pneumonia: a retrospective multicentre study.	Scientific Reports			7355	-	2019-05	1
26	Isshiki T, Matsuyama H, Sakamoto S, Honma N, Mikami T, Shibuya K, Eishi Y, Homma S.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Development of Propionibacterium acnes-associated Sarcoidosis During Etanercept Therapy.	Internal Medicine	58	10	1473	1477	2019-05	3
27	Isshiki T, Sakamoto S, Homma S.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Therapeutic Role of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin for Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	Medicina	55	5	-	-	2019-05	2
28	Atsushi Miyamoto, Hironori Uruga, Nasa Morokawa, Shuhei Moriguchi, Yui Takahashi, Kazumasa Ogawa, Kyoko Murase, Shigeo Hanada, Hisashi Takaya, Atsuko Kurosaki, Takeshi Fujii, Eugene J. Mark, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Various Bronchiolar Lesions Accompanied by Idiopathic Pleuroparenchymal Fibroelastosis with a Usual Interstitial Pneumonia Pattern Demonstrating Acute Exacerbation.	Internal Medicine	58	9	1321	1328	2019-05	1
29	Fujino T†, Yuzawa H†, Kinoshita T†, Shinohara M†, Okishige K, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	A case of successful cryoballoon ablation of paroxysmal atrial fibrillation originating from a persistent left superior vena cava.	J Cardiol Cases	20	3	77	80	2019-05	1
30	Ikeda T†, Shiga T, Shimizu W, Kinugawa K, Sakamoto A, Nagai R, Daimon T, Oki K, Okamoto H, Yamashita T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Efficacy and safety of the ultra-short-acting β1-selective blocker landiolol in patients with recurrent hemodynamically unstable ventricular tachyarrhythmias - outcomes of J-Land II Study.	Circulation Journal	83		1456	1462	2019-05	1
31	Watanabe I†, Saito D†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Nakanishi R†, Amano H†, Toda M†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Measurement of left ventricular end-diastolic pressure improves the prognostic utility of the Global Registry of Acute Coronary Events score in patients with ST-segment elevation myocardial infarction	AsiaIntervention			1	7	2019-05	1
32	Kamiyama N†, Wakui N†, Oguri T†, Hashimoto H†, Kanayama Y†, Nagai H†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	A New Method to Quantify Concentration of Microbubbles in Attenuating Media Using Bubble Destruction Curve Analysis of the Contrast-Enhanced Ultrasound.	Ultrasound Med Biol	45		2485	2492	2019-05	1
33	Wakui N†, Nagai H†, Yoshimine N†, Amanuma M†, Kobayashi K†, Ogino Y†, Matsui D†, Mukozu T†, Matsukiyo Y†, Matsui T†, Daido Y†, Momiyama K†, Shinohara M†, Kudo T†, Maruyama K†, Sumino Y†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Flash Imaging Used in the Post-vascular Phase of Contrast-Enhanced Ultrasonography is Useful for Assessing the Progression in Patients with Hepatitis C Virus-Related Liver Disease.	Ultrasound Med Biol		45	1654	1662	2019-05	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他	
34	Takao Natsuyama, Yoza Mitsui† *, Masato Uetani, Shigeyuki Ohta, Shin-ichi Hisasue	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)	Indocyanine green near-infrared fluorescence imaging-guided laparoscopic heminephrectomy for left ureteral cancer in patient with horseshoe kidney	Case Reports in Urology	4859301	1	5	2019-05	3	
35	Asanuma H, Chung H, Ito S, Min KD, Ihara M, Takahama H, Funayama M, Imazu M, Fukuda H, Ogai A, Asano Y, Minamino T, Takashima S, Morita T†, Sugimachi M, Asakura M, Kitakaze M	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	AST-120, an Adsorbent of Uremic Toxins, Improves the Pathophysiology of Heart Failure in Conscious Dogs.	Cardiovascular drugs and therapy / sponsored by the International Society of Cardiovascular Pharmacotherapy		doi: 10.1007/s10557-019-06875-z.		2019-05	1	
36	Satoru Ebihara	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Pharyngeal Sensation and Dysphagia in Aspiration Pneumonia	Toho Journal of Medicine	5	2	33	39	2019-06	2
37	Kobayashi S, Hiwasa T, Ishige T, Bahitayar R, Kano M, Hoshino T, Minamoto T, Shimada H†, Nomura F, Matsubara H, Matsushita K	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Anti-FIRΔexon2, a splicing variant form of PUF60, auto-antibody is detected in the sera of esophageal squamous cell carcinoma.	Cancer science	110	6	2004	2013	2019-06	1
38	Sugino K†, Otsuka H†, Matsumoto Y†, Nakamura Y†, Matsumoto K†, Azuma Y†, Makino T†, Iyoda A†, Kazutoshi Shibuya†, Sakae Homma†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	The role of video-assisted thoracoscopic surgery in the diagnosis of interstitial lung disease	Sarcoidosis, vasculitis, and diffuse lung diseases: official journal of WASOG / World Association of Sarcoidosis and Other Granulomatous Disorders	36	2	148	156	2019-06	1
39	Kawanishi H, Sekiguchi A, Funaba M, Fujii Y, Yoshiuchi K, Kikuchi H†, Kawai K, Maruo K, Sugawara N, Hatano K, Shoji T, Yamazaki T, Toda K, Murakami M, Shoji M, Ohara C, Tomita Y, Fukudo S and Ando T*	医学部 医学科 心身医学講座(大森)	Cognitive behavioral therapy with interoceptive exposure and complementary video materials for irritable bowel syndrome (IBS): protocol for a multicenter randomized controlled trial in Japan	BioPsychoSocial Medicine	13	14	1	11	2019-06	1
40	Kawaguchi Y*†, Oguchi H†, Mikami T†, Yamaguchi Y, Ohashi Y†, Kawamura T†, Muramatsu M†, Itabashi Y†, Shinoda K†, Hyodo Y†, Takahashi Y†, Onishi H†, Arai T†, Hamasaki Y†, Kazutoshi Shibuya K†, Shishido S†, Sakai K†	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Can Lipofuscin Deposition on Renal Allograft Tubular Epithelium Be a Surrogate Marker for Kidney Allograft Aging?	Transplantation Proceedings	51	5	1343	1347	2019-06	1
41	Kawaguchi Y*†, Oguchi H†, Mikami T†, Yamaguchi Y, Ohashi Y†, Kawamura T†, Muramatsu M†, Itabashi Y†, Shinoda K†, Hyodo Y†, Takahashi Y†, Onishi H†, Arai T†, Hamasaki Y†, Kazutoshi Shibuya K†, Shishido S†, Sakai K†	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Donor-Recipient Body Weight Mismatch May Affect Glomerular Basement Membrane Thinning in Electron Microscopic Examination of 1-Hour Renal Allograft Biopsy Specimens	Transplantation Proceedings	51	5	1348	1352	2019-06	1
42	Shinoda K*†, Morita S, Akita H, Washizuka F†, Tamaki S, Takahashi R, Oguchi H†, Sakurabayashi K†, Mizutani T†, Takahashi Y†, Hyodo Y†, Itabashi Y†, Muramatsu M†, Kawamura T†, Asanuma H, Kikuchi E, Jinzaki M, Shiraga N†, Sakai K†	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Preserved Kidney Volume, Body Mass Index, and Age Are Significant Preoperative Factors for Predicting Estimated Glomerular Filtration Rate in Living Kidney Donors at 1 Year After Donation	Transplantation Proceedings	51	5	1306	1310	2019-06	1
43	Hiromu Ito, Shigeyoshi Tsuji, Masanori Nakayama, Yuichi Mochida, Keiichiro Nishida, Hajime Ishikawa, Toshihisa Kojima, Takumi Matsumoto, Ayako Kubota, Takeshi Mochizuki, Koji Sakuraba, Isao Matsushita, Arata Nakajima, Ryota Hara, Akihisa Haraguchi, Tsukasa Matsubara, Katsuaki Kanbe, Natsuko Nakagawa, Masahide Hamaguchi, Shigeki Momohara	医学部 医学科 整形外科科学講座(大森)	Does Abatacept Increase Postoperative Adverse Events in Rheumatoid Arthritis Compared With Conventional Synthetic Disease-modifying Drugs?	The journal of Rheumatology	47	1	18110		2019-06	1
44	Ishi T, Sasaki Y†, Maeda T†, Komatsu F†, Suzuki T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Antithrombotic Agents are not Associated with Outcomes of Diverticular Bleeding but Prolonged the Length of Hospital Stay	Toho Journal of Medicine	5	2	54	61	2019-06	1
45	Sasaki Y†, Komatsu F†, Kashima N†, Sato T†, Takenoto I†, Kijima S†, Maeda T†, Ishii T, Miyazaki T†, Honnda Y†, Shimaeda N†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Clinical differentiation of acute appendicitis and right colonic diverticulitis: A case-control study	World Journal of Clinical Cases	7	12	1393	1402	2019-06	3
46	Ishii T, Sasaki Y†, Komatsu F†, Kijima S†, Maeda T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Evaluation of Changes in the Neutrophil-Lymphocyte Ratio after Helicobacter Pylori Eradication	Toho Journal of Medicine	5	2	62	68	2019-06	1
47	Kazuhiro Usui, Takuma Yokoyama, Go Naka, Hiroo Ishida, Kazuma Kishi†, Kohei Uemura, Yasuo Ohashi, Hideo Kunitoh	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Plasma ctDNA monitoring during epidermal growth factor receptor (EGFR)-tyrosine kinase inhibitor treatment in patients with EGFR-mutant non-small cell lung cancer (JP-CLBAR trial).	Japanese Journal of Clinical Oncology	49	6	554	558	2019-06	1
48	Win TT, Nakanishi R†, Osawa K, Li D, Susaria SS, Jayawardena E, Haanal S, Kim M, Broersen A, Kitzlaar PH, Dailling C, Budoff MJ	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Apixaban versus warfarin in evaluation of progression of atherosclerotic and calcified plaques	American heart journal	212		129	133	2019-06	1
49	Koretsune Y, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Okumura K, Shimizu W, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Kaburagi J, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Baseline demographics and clinical characteristics in the all Nippon AF in the elderly (ANAFIE) registry.	Circulation Journal	83		1538	1545	2019-06	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
 高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	課題	掲載誌名	巻号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他	
50	Amano H†, Noike R†, Saito D†, Yabe T†, Watanabe I†, Okubo R†, Koizumi M†, Toda M†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Plaque characteristics and slow flow during percutaneous coronary intervention of irregular protrusion by optical coherence tomography	Heart and Vessels	34	7	1076	1085	2019-06	1
51	Watanabe I†, Tatebe J†, Fujii T†, Noike R†, Saito D†, Koike H†, Yabe T†, Okubo R†, Nakanishi R†, Amano H†, Toda M†, Ikeda T†, Morita T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床検査医学講座 (大森)	Prognostic Significance of Serum Indoxyl Sulfate and Albumin for Patients with Cardiovascular Disease	International Heart Journal	60	1	129	135	2019-06	1
52	Watanabe I†, Tatebe J†, Fujii T†, Noike R†, Saito D†, Koike H†, Yabe T†, Okubo R†, Nakanishi R†, Amano H†, Toda M†, Ikeda T†, Morita T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床検査医学講座 (大森)	Prognostic Utility of Indoxyl Sulfate for Patients with Acute Coronary Syndrome	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	26	1	64	71	2019-06	1
53	Mai Kawazoe, Kaichi Kaneko, Zento Yamada, Shotaro Masuoka, Satoshi Mizutani, Soichi Yamada, Kotaro Shikano, Hiroshi Sato, Makoto Kaburaki, Sei Muraoka, Shinichi Kawai, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Efficacy of mycophenolate mofetil in Japanese patients with systemic lupus erythematosus: A single-center retrospective study.	Clinical Rheumatology	38	6	1571	1578	2019-06	1
54	Takao Natsuyama, Yoza Mitsui†, Masato Uetani, Shigeyuki Ohta, Masafumi Inoue, Koichiro Akakura	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Alfa-fetoprotein-producing female primary urethral adenocarcinoma with neuroendocrine differentiation	Case Reports in Urology	3454037		1	4	2019-06	3
55	Sunao Mizumura, Satoshi Iwabuchi, Satoshi Fujita, Junichi Harashina, Akiko Kajiyama, Tatsuya Gomi	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Measurement of cerebral vascular reserves with I-123 IMP SPECT without an arterial input function using the microsphere model and radiopharmaceutical dose calibration	Annals of nuclear medicine	33	6	444	448	2019-06	1
56	Sugiura T†, Ochiai R†	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Comparison of Plasma Levobupivacaine Concentrations Following Single-Shot Thoracic Paravertebral and Retrolaminar Blocks	Toho journal of medicine	5	2	47	53	2019-06	1
57	Fushimi Y, Tatebe J, Okuda Y, Ishii T, Ujije S, Morita T†	医学部 医学科 臨床検査医学講座 (大森)	Performance evaluation of an indoxyl Sulfate Assay Kit "NIPRO".	Clinical chemistry and laboratory medicine : CCLM / FESCC			doi: 10.1515/cclm-2019-0218		2019-06	1
58	Sakuma K†, Shimoda A†, Shiratori H†, Komatsu T†, Watanabe K†, Chiba T†, Aimoto M†, Nagasawa Y†, Hori Y†, Shirai K†, Takahara A*†	薬学部 医療薬学教育センター/薬物治療学研究室, 医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Angiotensin II acutely increases arterial stiffness as monitored by cardio-ankle vascular index (CAVI) in anesthetized rabbits	Journal of Pharmacological Sciences	140	2	205	209	2019-06	1
59	Kawaguchi Y, Tanaka S, Fuks D, Kanazawa A, Takeda Y, Hirokawa F, Nitta H, Nakajima T, Kaizu T, Kaibori M, Kojima T, Otsuka Y†, Kubo S, Hasegawa K, Kokudo N, Kaneko H†, Wakabayashi G, Gayet B.	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Validation and performance of three-level procedure-based classification for laparoscopic liver resection.	Surgical endoscopy			Epub ahead of print		2019-07	1
60	Shiratori F†, Ito M†, Yajima S†, Suzuki Takashi†, Oshima Y†, Nanami T†, Funahashi K†, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The effectiveness of serum midkine in detecting esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus	16	3	246	251	2019-07	1
61	Kawashita Y, Koyama Y, Kurita H, Otsuru M, Ota Y, Okura M, Horie A, Sekiya H, Umeda M.	医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Effectiveness of a comprehensive oral management protocol for the prevention of severe oral mucositis in patients receiving radiotherapy with or without chemotherapy for oral cancer: a multicentre, phase II, randomized controlled trial.	Int J Oral Maxillofac Surg	48	7	357	364	2019-07	1
62	Osuni T, Watanabe A, Okamura K, Nakabayashi K, Yoshida M, Tsujimoto SI, Uchiyama M, Takahashi H, Tomizawa D, Hata K, Kiyokawa N, Kato M.	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Acute promyelocytic leukemia with a cryptic insertion of RARA into TBL1XR1.	Genes Chromosomes Cancer	58	11	820	823	2019-07	3
63	Toshiki Masuda, Yuiko Hamasaki, Mai Kubota, Junya Hashimoto, Yusuke Takahashi, Masaki Muramatsu, Shinichi Takatsuki, Hiroyuki Matsuura, Ken Sakai, Seichiro Shishido	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Changes in cardiac function after renal transplantation in children: Significance of pre-transplantation left ventricular hypertrophy	Pediatric Transplantation			e13558	e13558	2019-07	1
64	Watanabe A, Inukai T, Kagami K, Abe M, Takagi M, Fukushima T, Fukushima H, Namoku T, Terui K, Ito T, Toki T, Ito E, Fujimura J, Goto H, Endo M, Look T, Kamps M, Minegishi M, Takita J, Inaba T, Takahashi H, Ohara A, Harama D, Shinohara T, Somazu S, Oshiro H, Akahane K, Goi K, Sugita K.	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Resistance of t(17;19)-acute lymphoblastic leukemia cell lines to multiagents in induction therapy.	Cancer Medicine	8	11	5274	5288	2019-07	1
65	Takeaki Takeuchi, Kazunaki Hashimoto, Masahiro Hashizume	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Near-Infrared Spectroscopy In atypical Depression: A Diagnostic Possibility	Biomedical Journal of Scientific & Technical Research	19	3	14337	14344	2019-07	1
66	Masaki Muramatsu, Yoji Hyodo, Abigail Lee, Atsushi Aikawa, Carmelo Puliaatti, Magdi Yaqoob, Michael Sheaff	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Transplant Nephrectomy: Pathological features of 124 Consecutive Cases in a Single Center Study over 10 Years	Journal of Nephropathology	8	3	000	000	2019-07	1
67	Kazumasa Ogawa, Yui Takahashi, Kyoko Murase, Shigeo Hanada, Hironori Uruga, Hisashi Takaya, Atsushi Miyamoto, Nasa Morokawa, Atsuko Kurosaki, Kazuma Kish†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Treatment outcome of patients with unresectable stage III non-small cell lung cancer and interstitial pneumonia.	Respiratory Investigation	57	4	388	394	2019-07	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
68	Ikeda T†, Ogawa S, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Miyamoto S, Murakawa Y, Takeichi M, Ohashi Y, Okayama Y, Sunaya T, Yamanaka S	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Real-world outcomes of the Xarelto post-authorization safety & effectiveness study in Japanese patients with atrial fibrillation (KAPASS).	Journal of Cardiology	74	1	60	66	2019-07	1
69	Kobayashi S†, Nonaka S, Oda I, Abe S, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Sekine S, Igarashi Y†, Saito Y	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	A case of mixed-type early gastric cancer with recurrence following curative endoscopic submucosal dissection for expanded indication	Endoscopy International Open	2019	07	E841	E845	2019-07	3
70	Emiko Shindo, Kotaro Shikano, Mai Kawazoe, Tatsuhiro Yamamoto, Natsuko Kusonoki, Yuki Hashimoto, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	A case of generalized pustular psoriasis caused by hydroxychloroquine in a patient with systemic lupus erythematosus.	Lupus	28	8	1017	1020	2019-07	3
71	KOBAYASHI K, KURIHARA Y, YAMAGAMI J, TO J, SHIMA H, SHIMADA H, ICHIMURA C, ISHIKO A, AMAGAI M, OUCHI T	医学部 皮膚科学講座	Generalized eruptive histiocytoma developing into xanthoma disseminatum with central diabetes insipidus.	Journal of Dermatology.	48	8	e281	e283	2019-08	1
72	Kaneko T*†, Funahashi K†, Ushigome M†, Kagami S†, Goto M†, Koda T†, Nagashima Y†, Shiokawa H†, Koike J†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科分野 (大森)	Incidence of and risk factors for incisional hernia after closure of temporary ileostomy for colorectal malignancy	Hernia : the Journal of hernias and abdominal wall surgery	23	4	743	748	2019-08	1
73	Itokawa T, Okajima Y, Suzuki T, Kobayashi T, Tei Y, Kakisu K, Hori Y	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Association among Blink Rate, Changes in Ocular Surface Temperature, Tear Film Stability, and Functional Visual Acuity in Patients after Cataract Surgery	Journal of Ophthalmology	2019		108189097	8 pages	2019-08	1
74	Nakazato K, Mogushi K, Kayamori K, Tsuchiya M, Takahashi KI, Sumino J, Michi Y, Yoda T, Uzawa N.	医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Glucose metabolism changes during the development and progression of oral tongue squamous cell carcinomas.	Oncology Letters	18	2	1372	1380	2019-08	1
75	Osuga Y, Akira S, Irahara M, Iwase A, Katagiri Y, Kugu K, Terada Y, Maruyama T, Fujiwara H	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Annual report of Reproductive Endocrinology Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2019.	The Journal of Obstetrics and Gynecology Research	45		1975	1979	2019-08	1
76	Akiko Inoue, Shintaro Chiba, Kentaro Matsuura, Hiroshi Osafune, Robson Capasso, Kota Wada	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座 (大森)	Nasal function and CPAP compliance	Auris-Nasus-Larynx	46	4	548	558	2019-08	1
77	Miyoshi T, Maeno Y, Hamasaki T, Inamura N, Yasukochi S, Kawataki M, Horigome H, Yoda H†, Taketazu M, Nii M, Hagiwara A, Kato H, Shimizu W, Shiraiishi I, Sakaguchi H, Ueda K, Katsuragi S, Yamamoto H, Sago H, Ikeda T	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	Antenatal Therapy for Fetal Supraventricular Tachyarrhythmias: Multicenter Trial	J Am Coll Cardiol	74	7	874	885	2019-08	1
78	©Yuko Hamasaki, Niamh M. Dolan, David Cubitt, Judith Breuer, Neil J. Sebire, Stephen D. Marks	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	BK viremia and nephropathy in pediatric renal transplant recipients	Pediatric Transplantation	23	5	e13460		2019-08	1
79	©Nishi K, Inoguchi T, Kamei K, Hamada R, Hataya H, Ogura M, Sato M, Yoshioka T, Ogata K, Ito S, Nakanishi K, Nozu K, Hamasaki Y, Ishikura K	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Detailed clinical manifestations at onset and prognosis of neonatal-onset Denys-Drash syndrome and congenital nephrotic syndrome of the Finnish type.	Clinical and Experimental of Nephrology	23	8	1058	1065	2019-08	1
80	Ginga Suzuki†, Ryo Ichibayashi†, Saki Yamamoto†, Yoshinai Nakamichi†, Masayuki Watanabe† and Mitsuru Honda†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Clinical significance of urinary L-FABP in the emergency department.	International Journal of Emergency Medicine	12		24		2019-08	1
81	Hutchins E, Wang R, Rahmani S, Nakanishi R†, Haberen S, Kingsley L, Witt MD, Palella FJ, Jacobson L, Budoff M, Post W.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	HIV Infection is Associated with Greater Left Ventricular Mass in the Multicenter AIDS Cohort Study	AIDS research and human retroviruses	35	8	755	761	2019-08	1
82	Chie Miyabe, Yoshishige Miyabe, Jun Nagai, Noriko N. Miura, Naohito Onno, Jerold Chun, Ryoji Tsuboi, Hiroshi Ueda, Masayuki Miyasaka, Nobuyuki Miyasaka, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Abrogation of lysophosphatidic acid receptor 1 ameliorates murine vasculitis.	Arthritis Research & Therapy	21	1	191	191	2019-08	1
83	Saito K, Iwabuchi C†, Wada Y, Watanabe D	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Case of herpes zoster with herpetic folliculitis complicated with meningitis: Immunochromatography.	J Dermatol.	46	8	e268	e270	2019-08	1
84	Sun Z, Satomoto M, Adachi YU, Makita K	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Blood-brain barrier disruption caused by neonatal sevoflurane-induced depends on exposure time and is reversible in mice.	Korean J Anesthesiol.	72	4	389	391	2019-08	1
85	Sato K, Yoshizawa H, Seki T, Shirai R, Yamashita T, Okano T, Shibata K, Wakamatsu MJ, Mori Y, Morita T†, Matsuyama TA, Ishibashi-Ueda H, Hirano T, Watanabe T.	医学部 医学科 臨床検査医学講座 (大森)	Chemerin-9, a potent agonist of chemerin receptor (ChemR23), prevents atherogenesis.	Clinical science (London, England : 1979)	133	16	1779	1796	2019-08	1
86	Izukura H†, Kanezaki M, Ebihara S†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森)	Alleviation of Dyspnea Sensation by Phototherapy in Healthy Adults	Respiratory Care	64	9	1082	1087	2019-09	1
87	Okada R†, Hoshino I, Nabeya Y, Yokoi S, Kuwajima A, Tagawa M, Matsushita K, Otsuka Y†, Shinada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Diagnostic and prognostic impacts of six autoantibodies against multiple tumor-associated antigens with hepatocellular carcinoma.	Toho Journal of Medicine	5	3	93	100	2019-09	1
88	Miyagawa Y, Araki K, Yamashita T, Tanaka S, Tanaka Y, Tomi Fuji M, Ueda Y, Yonezumi Y, Shinada H†, Shiotani A	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Induction of Cell Fusion/Apoptosis in Anaplastic Thyroid Carcinoma in Orthotopic Mouse Model by Urokinase-specific Oncolytic Sendai Virus.	Head & neck	41	9	2873	2882	2019-09	1
89	Miyoshi S†, Isobe K†, Shimizu H†, Sunakawa M, Suzuki A†, Sugino K†, Shiraga N†, Sakamoto S†, Takai Y†, Iyoda A†, Honma S†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森), 医学部 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部医学科放射線医学講座 (大森)	The Utility of Virtual Bronchoscopy Using a Computed Tomography Workstation for Conducting Conventional Bronchoscopy	Respiration	97	1	52	59	2019-09	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
90	Koezuka S†, Mikami T†, Tochigi N†, Sano A†, Azuma Y†, Makino T†, Otsuka H†, Matsumoto K, Shiraga N†, Iyoda A†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森), 医学部 医学科 病理学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Toward improving prognosis prediction in patients undergoing small lung adenocarcinoma resection: Radiological and pathological assessment of diversity and intratumor heterogeneity.	Lung cancer	1016	135	40	46	2019-09	1
91	Sadamoto S†, Shinozaki M†, Nagi M, Nihonyanagi Y†, Ejima K†, Mitsuda A†, Wakayama M†, Tochigi N†, Murakami Y†, Hishima T, Nemoto T†, Nakamura S, Miyazaki Y, Shibuya K†	医学部 医学科 社会医学講座/医療統計学, 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Histopathological study on the prevalence of trichosporonosis in formalin-fixed and paraffin-embedded tissue autopsy sections by in situ hybridization with peptide nucleic acid probe.	Medical Mycology Journal.	1				2019-09	1
92	Shiba T, Tanaka T, Ida H, Watanabe M, Nakaseko H, Osawa M, Shibata H, Izawa K, Yasuni T, Kawasaki Y, Saito MK®, Takita J, Heike T, Nishikomori R	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Functional evaluation of the pathological significance of MBFV variants using induced pluripotent stem cell-derived macrophages.	Journal of Allergy and Clinical Immunology	13			S0091-6749(19)31039-5	2019-09	1
93	©Yasuho Shoda, Misa Watanabe, Kota Wada, Takehiko Soutome, Yumiko Komine, Tetsuo Mikami, Tetsuo Nemoto, Akira Ohara	医学部 医学科 小児科学講座(大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座(大森)	Successful management of severe asthma in a young boy with eosinophilic chronic rhinosinusitis who received omalizumab: a case report	Allergy, Asthma & Clinical Immunology	15		55		2019-09	3
94	Inada S, Iizuka Y, Ohashi K, Kikuchi H†, Yamamoto Y, Radowski T, Yoshiuchi K*	医学部 医学科 心身医学講座(大森)	Preceding psychological factors and caloric intake in patients with type 2 diabetes: investigation by ecological momentary assessment	BioPsychoSocial Medicine	13	20	1	6	2019-09	1
95	Yoda H	医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Fetal and Neonatal Circulatory Disorders in Twin to Twin Transfusion Syndrome (The Secondary Publication)	J Nippon Med Sch.	86	4	192	200	2019-09	2
96	Sugiyama K, Horigome H, Lin L, Murakami T, Shiono J, Yamashiro Y, Matsuura H, Yoda H†, Yanagisawa H	医学部 医学科 新生児学講座(大森)	Novel ELN mutation in a Japanese family with a severe form of supravalvular aortic stenosis	Mol Genet Genomic Med			e	986	2019-09	3
97	Kazumasa Ogawa, Atsuko Kurosaki, Atsushi Miyamoto, Yui Takahashi, Kyoko Murase, Shigeo Hanada, Hironori Uruga, Hisashi Takaya, Nasa Morokawa, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Clinicoradiological Features of Pulmonary Tuberculosis with Interstitial Pneumonia	Internal Medicine	58	17	2443	2449	2019-09	1
98	Akira Oosawa, Atsuko Kurosaki, Shoji Kanada, Yui Takahashi, Kazumasa Ogawa, Shigeo Hanada, Hironori Uruga, Hisashi Takaya, Nasa Morokawa, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Development of a CT image case database and content-based image retrieval system for non-cancerous respiratory diseases: Method and preliminary assessment	Respiratory Investigation	57	5	490	498	2019-09	1
99	Susumu Sakanoto, Hiroshige Shimizu, Takuma Isshiki, Atsuko Kurosaki, Sakae Homma	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Pharmacological treatment of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: a retrospective study of 88 patients	Sarcoidosis, vasculitis, and diffuse lung diseases: official journal of WASOG / World Association of Sarcoidosis and Other Granulomatous Disorders	36	3	176	184	2019-09	1
100	Matsuyama H, Isshiki T, Chiba A, Yamaguchi T, Murayama G, Akasaka Y, Eishi Y, Sakamoto S, Homma S, Miyake S	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座	Activation of mucosal-associated invariant T cells in the lungs of sarcoidosis patients.	Scientific Reports	9	1	13181		2019-09	1
101	Nakanishi R†, Delaney JA, Post WS, Dalling C, Blaha MJ, Palella F, Witt M, Brown TT, Kingsley LA, Osawa K, Ceponiene I, Nezarat N, Rahmani S, Kanisawa M, Jacobson L, Budoff MJ	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	A novel density-volume calcium score by non-contrast CT predicts coronary plaque burden on coronary CT angiography: Results from the MACS (Multicenter AIDS cohort study)	J Cardiovasc Comput Tomogr				S1934-5925(19)30526-X, doi	2019-09	1
102	Shinohara M†, Wada R†, Yao S†, Yano K†, Akitsu K†, Koike H†, Kinoshita T†, Yuzawa H†, Suzuki T†, Fujino T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Evaluation of oral anticoagulants in atrial fibrillation patients over 80 years of age with nonsevere frailty	Journal of Arrhythmia	35	6	795	803	2019-09	1
103	Nakanishi R†, Motoyama S, Leipsic J, Budoff MJ	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	How accurate is atherosclerosis imaging by coronary computed tomography angiography?	J Cardiovasc Comput Tomogr	13	5	254	260	2019-09	2
104	Shaikh K, Li D, Nakanishi R†, Kinninger A, Almeida S, Cherukuri L, Shekar C, Roy SK, Bhirudaraju D, Rai K, Ahmad K, Shaffer A, Kumar A, Hamal S, Alla VM, Budoff MJ	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Low short-term and long-term cardiovascular and all-cause mortality in absence of coronary artery calcium: A 22-year follow-up observational study from large cohort.	Journal of diabetes and its complications	33	9	616	622	2019-09	1
105	Okubo Y	医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Gangliocytic paraganglioma: An overview and future perspective	World Journal of Clinical Oncology	10	9	300	302	2019-09	9
106	Matsuda H, Yokoyama K, Sato N, Ito K, Nemoto K, Oba H, Hanyu H, Kanetaka H, Mizumura S, Kitamura S, Shinotoh H, Shimada H, Suhara T, Terada H, Nakatsuka T, Kawakatsu S, Hayashi H, Asada T, Ono T14, Goto T, Shigemori K	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Differentiation Between Dementia With Lewy Bodies And Alzheimer's Disease Using Voxel-Based Morphometry Of Structural MRI: A Multicenter Study.	NEUROPSYCHIATRIC DISEASE AND TREATMENT	15		2715	2722	2019-09	1
107	Takashi Terada : Sayaka Kessoku : Aki Suzuki : Akiko Kurosawa : Shoko Nakagomi : Ayano Oiwa : Miwako Arai : Noriaki Sakamoto : Wataru Idemitsu : Ryoichi Ochiai	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Comparison of the Pulse Wave Transit Time Method and an Arterial Pressure-Based Cardiac Output System for Measuring Cardiac Output Trends During Laparotomy Without Postural Change	Asian Journal of Anesthesiology	57	3	85	92	2019-09	1
108	Kajitani M†, Ochiai R†	医学部 医学科 麻酔科学講座(大森)	Is Noninvasive Continuous Cardiac Output Technique Based on Pulse Wave Transit Time Applicable in Cardiac Output Monitoring during Thoracic Aortic Aneurysm Surgery?	Toho journal of medicine	5	3	85	92	2019-09	1
109	Yamada K†, Sasaki M†, Imai W†, Murakami H, Morita T†, Aoki K†, Ishii Y†, Tateda K†	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座	Evaluation of inhibitor-combination mCIM for detecting MBL-producing Enterobacteriales using three MBL inhibitors.	Journal of medical microbiology			10.1099/jmm.0.001073.		2019-09	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
 高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
110	Masashi Kanezaki, Satoru Ebihara	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Effect of facial skin cooling induced by a handheld fan on the cough reflex threshold and urge to cough induced by citric acid	ERJ open research	5	4	online		2019-10	1
111	Honma N†, Makita M, Saji S, Mikami T†, Ogata H†, Horii R, Akiyama F, Iwase T, Ohno S	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 病理学講座	Characteristics of adverse events of endocrine therapies among older patients with breast cancer.	Supportive Care in Cancer	27	10	3813	3822	2019-10	1
112	Kochi R†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Ito M†, Funahashi K†, Shimada H†*	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Does preoperative low HbA1c predict esophageal cancer outcomes?	Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia			Online		2019-10	1
113	Tatsuhiko Kobayashi, Tomoaki Shiba, Ayako Kinoshita, Tadashi Matsumoto, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	The Influences of Gender and Aging on Optic Nerve Head Microcirculation in Healthy Adults	Scientific Reports	9	1	15636		2019-10	1
114	Seiji Takagi 1, Michiko Mandai 2, Kiyoko Gocho 3, Yasuhiro Hirami 4, Midori Yamamoto 5, Masashi Fujihara 6, Sunao Sugita 7, Yasuo Kurimoto 4, Masayo Takahashi 7	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部 医学科 臨床支援室	Evaluation of Transplanted Autologous Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Retinal Pigment Epithelium in Exudative Age-Related Macular Degeneration	Ophthalmology Retina	3	10	850	859	2019-10	1
115	Mayumi Takano†, Masahiko Nakata†*, Sumito Nagasaki†, Mineo Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Asymmetrical Hemodynamic Influence of Twin-Twin Transfusion Syndrome on Fetal E/e' by the Dual Gate Doppler Method in Recipient Twins.	Fetal Diagnosis and Therapy	Oct	1	1	7	2019-10	1
116	Yoshizawa K†, Aso K†, Satoh M†	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Prednisolone therapy in prolonged cerebral edema due to diabetic ketoacidosis	Pediatrics International	61	10	1053	1054	2019-10	3
117	Kojimahara Y†, Tsuge S†, Hasegawa K†, Fukutake K†, Nakamura K†, Wada A†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科科学講座(大森)	A Case of a Spinal Extradural Arachnoid Cyst	Case Reports in Orthopedics	2019		103516598		2019-10	3
118	Madaj P, Li D, Nakanishi R†, Andreini D, Pontone G, Conte E, O'Rourke R, Hamilton-Craig C, Nimmagadda M, Kim N, Fatima B, Dailling C, Budoff M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Lower Radiation Dosing in Cardiac Computed Tomographic Angiography: the CONVERGE Registry	Journal of nuclear medicine technology			doi: 10.2987/jnumed.119.229500.		2019-10	1
119	Naobumi Tochigi†, Sota Sadamoto†, Minoru Shinozaki†, Megumi Wakayama†, Kazutoshi Shibuya†	医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	Comparison in Quantities From Including Angles Comprising Lines of Hypha Themselves in Histological Images Between Mucorales and Aspergillus	Medical Mycology Journal	60	4	85	89	2019-10	1
120	Saito A, Nakamura Y, Tanaka R, Inoue S, Okiyama N, Ishitsuka Y, Maruyama H, Watanabe R, Yoshida K†, Ishiko A†, Fujimoto M, Shinkuma S, Fujisawa Y	医学部 皮膚科学講座	Unusual Bone Lesions with Osteonecrosis Mimicking Bone Metastasis of Squamous Cell Carcinoma in Recessive Dystrophic Epidermolysis Bullosa.	Acta dermatovenerologica	99	12	1166	1169	2019-11	1
121	Tatsuhiko Kobayashi, Tomoaki Shiba, Yuji Nishiwaki, Ayako Kinoshita, Tadashi Matsumoto, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座(大森)	Influence of Age and Gender on the Pulse Waveform in Optic Nerve Head Circulation in Healthy Men and Women	Scientific Reports	9	1	0	0	2019-11	1
122	Ishihara O, Jwa SC, Kuwahara A, Katagiri Y, Kuwabara Y, Hamatani T, Harada M, Ichikawa T.	医学部 医学科 産科婦人科学講座(大森)	Assisted reproductive technology in Japan: A summary report for 2017 by the Ethics Committee of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology.	Reproductive Medicine and Biology	19		3	12	2019-11	1
123	Yasukata Nakashima, Yasunari Sakai, Yumi Mizuno, Kenji Furuno, Keiichi Hirono, Shinichi Takatsuki, Hiroyuki Suzuki, Yoshihiro Onouchi, Tohru Kobayashi, Kazuhiro Tanabe, Kenji Hamase, Tomofumi Miyamoto, Ryoshei Aoyagi, Makoto Arita, Kenichiro Yamamura, Tamami Tanaka, Hisanori Nishio, Hidetoshi Takada, Shouichi Ohga, Toshiro Hara	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Lipidomics links oxidized phosphatidylcholines and coronary arteritis in Kawasaki diseases	Cardiovascular Research			Epub ahead of print	Epub ahead of print	2019-11	1
124	Sugiyama K, Horigome H, Lin L, Murakami T, Shiono J, Yamashiro Y, Matsuura H†, Yoda H, Yanagisawa H	医学部 医学科 小児科学講座(大森)	Novel ELN mutation in a Japanese family with a severe form of supravalvular aortic stenosis	Molecular Genetics and Genomic Medicine	7	11	e986	e990	2019-11	1
125	©Masuda T, Hamasaki Y, Kubota M, Hashimoto J, Takahashi Y, Muramatsu M, Takatsuki S, Matsuura H, Sakai K, Shishido S	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Changes in cardiac function after renal transplantation in children: Significance of pre-transplantation left ventricular hypertrophy.	Pediatric Transplantation	23	7	e13558		2019-11	1
126	©Fujioka K, Nagai T, Kinoshita Y, Urushihara M, Hamasaki Y, Shishido S, Kagami S	医学部 医学科 腎臓学講座(大森)	Successful treatment with voriconazole combined with amphotericin B-liposome for fluconazole-resistant pulmonary cryptococcosis after renal transplantation.	Clinical and Experimental Nephrology Case Report	8	4	261	265	2019-11	3
127	Ogura T, Takigawa N, Tomii K, Kishi K, Inoue Y, Ichihara E, Honma S, Takahashi K, Akamatsu H, Ikeda S, Inase N, Iwasawa T, Ohe Y, Ohta H, Onishi H, Okamoto I, Ogawa K, Kasahara K, Karata H, Kishimoto T, Kitamura Y17, Gemma A, Kenmotsu H, Sakashita H, Sakamoto S, Sekine K, Takiguchi Y, Tada Y, Toyooka S, Nakayama Y, Nishioka Y, Hagiwara K, Hanibuchi M, Fukuoka J, Minegishi Y, Yanagihara T, Yamamoto M, Yamamoto H, Gaga M, Fong AM, Powell CA, Kiura K	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Summary of the Japanese Respiratory Society statement for the treatment of lung cancer with comorbid interstitial pneumonia.	Respiratory investigation	57	6	512	533	2019-11	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原着(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他	
128	Shaikh K, Ellenberg SS, Nakanishi R†, Snyder PJ, Lee J, Wenger NK, Lewis CE, Swerdloff RS, Preston P, Hamal S, Stephens-Sheilds A, Bhasin S, Cherukuri L, Cauley JA, Crandall JP, Cunningham GR, Ensrud KE, Matsumoto AM, Molich ME, Alla VM, Birudaraju D, Nezarat N, Rai K, Almeida S, Roy SK, Sheikh M, Trad G, Budoff M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Biomarkers and Non-Calcified Coronary Artery Plaque Progression in Older Men Treated with Testosterone	The Journal of clinical endocrinology and metabolism			doi: 10.1210/clinem/dgz242			2019-11	1
129	Ikeda T†, Ogawa S, Kitazono T, Nakagawara J, Minematsu K, Miyamoto S, Murakawa Y, Iwashiro S, Kidani Y, Okayama Y, Sunaya T, Sato S, Yamanka S	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Outcomes associated with under-dosing of rivaroxaban for management of non-valvular atrial fibrillation in real-world Japanese clinical settings.	Journal of Thrombosis	48	4	653	660	2019-11	1	
130	Tsujii K†, Kimura S*†, Tateda K†, Takahashi H†	医学部 医学科 微生物・感染症学講座 (大森) 医学部 医学科 整形外科学講座 (大森)	Does vitamin D3 prevent the inhibitory effect of vancomycin on osteoblasts?	Clinical orthopaedics and related research	478		420	433	2019-11	1	
131	Ito K, Ogata H†, Honma N†, Shibuya K†, Mikami T†	医学部 医学科 病理学講座 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Expression of mTOR signaling pathway molecules in triple-negative breast cancer.	Pathobiology : journal of immunopathology, molecular and cellular biology	86	5-6	315	321	2019-11	1	
132	Numasaki H, Teshima T, Nishimura T, Akuta K, Ando Y, Ikeda H, Kamikonya N, Koizumi M, Sasaki T, Sekiguchi K, Tago M, Terahara A†, Nakamura K, Nishio M, Murakami M, Mori Y, Ogawa K	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Japanese Structure Survey of Radiation Oncology in 2011	Journal of Radiation Research	60	6	786	802	2019-11	1	
133	Murayama K†, Suzuki Takashi†, Oshima Y†, Yajima S†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	High and/or non-decreased systemic inflammatory index during treatment indicates poor prognosis in patients with esophageal cancer.	Toho Journal of Medicine	5	4	153	160	2019-12	1	
134	Okada R†, Otsuka Y†, Tsuchiya M†, Ito Y†, Matsumoto Y†, Maeda T†, Ishii J†, Kubota Y†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Prognostic impact of plasma fibrinogen changing in patients with resectable pancreatic cancer.	Toho Journal of Medicine	5	4	142	152	2019-12	1	
135	Tomoaki Shiba, Mao Takahashi, Tadashi Matsumoto, Yuichi Hori	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Gender Differences in the Influence of Obstructive Sleep Apnea on Optic Nerve Head Circulation	Scientific Reports	9	1	0	0	2019-12	1	
136	Naohiro Motozawa 1 2 3, Guangzhou An 4 5 6, Seiji Takagi 7 8, Shohei Kitahata 1 2, Michiko Mandai 1 2, Yasuhiko Hiram 1 2, Hideo Yokota 5 9, Masahiro Akiba 4 5, Akitaka Tsujikawa 3, Masayo Takahashi 1 2, Yasuo Kurimoto 1 2	医学部 医学科 眼科学講座 (大森), 医学部医学科臨床支援室	Optical Coherence Tomography-Based Deep-Learning Models for Classifying Normal and Age-Related Macular Degeneration and Exudative and Non-Exudative Age-Related Macular Degeneration Changes	Ophthalmology and therapy	8	4	527	539	2019-12	1	
137	Itonaga T, Higuchi S, Shimura K, Nagasaki K, Satoh M†, Takubo N, Takahashi I, Sawada H Hasegawa Y	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Levothyroxine dosage as predictor of permanent and transient congenital hypothyroidism: a multicenter retrospective study in Japan	Hormone research in paediatrics	92	1	45	51	2019-12	1	
138	Tsuge S†, Wada A†, Iida Y†, Inoue Y†, Fukutake K†, Nishiwaki Y†, Takahashi H†	医学部 医学科 整形外科学講座 (大森), 医学部 医学科 社会医学講座/衛生学	Sharp systolic blood pressure elevation at extubation is a risk factor for symptomatic epidural hematoma after spine surgery	Journal of Orthopaedic Surgery	27	3	1	4	2019-12	1	
139	Takashi Sakoh, Mami Kanzaki, Atsushi Miyamoto, Sayaka Mochizuki, Toshiyuki Kakumoto, Kenichiro Sato, Yoshikazu Uesaka & Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Ramsay-Hunt syndrome and subsequent sensory neuropathy as potential immune-related adverse events of nivolumab: a case report	BMC Cancer	-	-	-	-	2019-12	1	
140	Urabe N, Sakamoto S, Sano G, Ito A, Sekiguchi R, Homma S	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Serial Change in Serum Biomarkers During Treatment of Non-HIV Pneumocystis Pneumonia	Journal of Infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy	25	12	936	942	2019-12	1	
141	Nakashima T, Noguchi T, Tahara Y, Nishimura K, Yasuda S, Onozuka D, Iwami T, Yonezono N, Nagao K, Nonogi H, Ikeda T, Sato N, Tsutsui H; Japanese Circulation Society with Resuscitation Science Study Group.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Public-access defibrillation and neurological outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest in Japan: a population-based cohort study.	Lancet	394		2255	2262	2019-12	1	
142	Waka Yokoyama-Kokuryo, Hayato Yamazaki, Tsutomu Takeuchi, Koichi Amano, Jun Kikuchi, Tsuneo Kondo, Seiji Nakamura, Ryoko Sakai, Fumio Hirano, Toshihiro Nanki, Ryuji Koike, Masayoshi Harigai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Identification of molecules associated with response to abatacept in patients with rheumatoid arthritis.	Arthritis Research & Therapy	22	1		46	2020	1	
143	Mai Kawazoe, Kaichi Kaneko, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorders in the central nervous system and stomach: A case report.	Medicine	99	15	e19850		2020	1	
144	Tatsuma Okazaki, Satoru Ebihara, Takashi Mori, Shinichi Izumi, Takae Ebihara	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森)	Association Between Sarcopenia and Pneumonia in Older People	Geriatr Gerontol Int	20	1	7	13	2020-01	1	
145	Nakano Y, Isobe K, Kobayashi H, Kaburaki K, Isshiki T, Sakamoto S, Takai Y, Tochigi T, Mikami T, Iyoda A, Homma S, Kishi K	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Clinical Importance of Long Non-coding RNA LINC00460 Expression in EGFR-mutant Lung Adenocarcinoma	International journal of oncology	56	1	243	257	2020-01	1	

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
 高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
146	©Yasuhiro Kondoh, Arata Azuma, Yoshikazu Inoue, Takashi Ogura, Susumu Sakamoto†, Kenji Tsushima, Takeshi Johkoh, Kiminori Fujimoto, Kazuya Ichikado, Yasuo Matsuzawa, Takefumi Saito, Kazuma Kishi†, Keisuke Tomii, Noriho Sakamoto, Masahiro Aoshima, Jun Araya, Shinyu Izumi, Machiko Arita, Mitsuhiro Abe, Hiroyoshi Yamauchi, Joe Shindoh, Takafumi Suda, Masaki Okamoto, Masahito Ebina, Yoshihito Yamada, Yuji Tohda, Tetsuji Kawamura, Yoshio Taguchi, Hiroshi Ishii, Naozumi Hashimoto, Shinji Abe, Hiroyuki Taniguchi, Jun Tagawa, Koji Bessho, Natsuki Yamamori, and Sakae Homma†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野(大森)	Thrombomodulin alpha for Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Trial	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine	10	-	-	-	2020-01	1
147	Kiuchi S†, Hisatake S†, Kabuki T†, Oka T†, Dobashi S†, Fujii T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Comparable effect of tolvaptan in heart failure patients with preserved or reduced ejection fraction.	Clinical and Experimental Hypertension	42	2	110	117	2020-01	1
148	Jayawardena E, Li D, Nakanishi R†, Dey D, Dailing C, Qureshi A, Dickens B, Bathiramanji M, Kim M, Flores F, Kearns AE, Lui LY, Black D, Budoff MJ,	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Non-contrast cardiac CT-based quantitative evaluation of epicardial and intra-thoracic fat in healthy, recently menopausal women: Reproducibility data from the Kronos Early Estrogen Prevention Study	J Cardiovasc Comput Tomogr	14	1	55	59	2020-01	1
149	Hashimoto H†, Nakanishi R†, Mizumura S†, Hashimoto Y†, Okamura Y†, Yamanaka K†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Prognostic value of 99mTc-ECD brain perfusion SPECT in patients with atrial fibrillation and dementia	BJNMJ Res	10:03				2020-01	1
150	Koike H†, Kishi S, Hosoda N, Takemoto S, Tomii D, Ninomiya K, Tanaka T, Asami M, Yahagi K, Komiyama K, Tanaka J, Yuzawa H†, Nakanishi R†, Fujino T†, Aoki J†, Venkatesh BA†, Lima JAC†, Tanabe K†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	The impact of tissue-tracking strain on the left atrial dysfunction in the patients with left ventricular dysfunction	Int J Cardiol Heart Vasc	26				2020-01	1
151	Fuchigami A†, Shigiyama F†, Kitazawa T, Okada Y, Ichijo T, Higa M, Hiyoshi T, Inoue I, Iso K, Yoshii H, Hirose T†, Kumashiro N†*	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野(大森)	Efficacy of dapagliflozin versus sitagliptin on cardiometabolic risk factors in Japanese patients with type 2 diabetes: a prospective, randomized study (DIVERSITY-CVN)	Cardiovascular Diabetology	19	1	1	1	2020-01	1
152	Kotaro Shikano, Kaichi Kaneko, Kyohei Kaburaki, Kazutoshi Isoe, Seichi Kawabe, Sakae Homma, Shinichi Kawai, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野(大森)	Nivolumab-induced anti-amyocyl-tRNA synthetase antibody-positive polymyositis complicated by interstitial pneumonia in a patient with lung adenocarcinoma.	Scandinavian Journal of Rheumatology	49	1	82	83	2020-01	3
153	Maehara T, Kamiya K, Fujimaki T, Matsumura A, Hongo K, Kuroda S, Matsumae M, Takeshima H, Sugo N, Nakao N, Saito N, Ikawa F, Tamura N, Sakurada K, Shimokawa S, Arai H, Tamura K, Sumita K, Hara S, Kato Y	医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森)	A Questionnaire to Assess the Challenges Faced by Women Who Quit Working as Full-Time Neurosurgeons. Gender Equality Committee of the Japan Neurosurgical Society	World Neurosurgery	133		331	342	2020-01	1
154	Fumito Yamabe†, Hiroshi Aoki, Remi Iwamoto, Yozo Mitsui, Hideyuki Kobayashi, Koichi Nakajima	医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森)	Intestinal malrotation in a patient who underwent radical cystectomy and ileal conduit construction: A case report	urology case reports					2020-01	3
155	Nagai Y, Yamabe F, Sasaki Y, Ishii T, Nakanishi K, Nakajima K, Shibuya K, Mikami T, Akasaka Y, Urita Y, Yamanaka N.	医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森), 医学部 医学科 泌尿器科学講座(大森), 医学部 医学科 病院病理学講座(大森)	A Study of Morphological Changes in Renal Afferent Arterioles induced by Angiotensin II Type 1 Receptor Blockers in Hypertensive Patients	Kidney & blood pressure research	16		1	15	2020-01	1
156	Nunasaki H, Teshima T, Ando Y, Akuta K, Ikeda H, Okajima K, Kumano T, Sasaki T, Sekiguchi K, Tago M, Terahara A†, Nakamura K, Nishimura T, Ogawa K	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Japanese structure survey of radiation oncology in 2012	Journal of Radiation Research	61	1	146	160	2020-01	1
157	Niibe Y†, Yamamoto T, Onishi H, Yamashita H, Katsui K, Matsumoto Y, Oh RJ, Aoki M, Shintani T, Yanada K, Kobayashi M, Ozaki M, Manabe Y, Yahara K, Nishikawa A, Kakuwara H, Yamamoto K, Inoue T, Takada YU, Nagata K, Suzuki O, Terahara A†, Jingu K	医学部 医学科 放射線医学講座(大森)	Pulmonary Oligometastases Treated by Stereotactic Body Radiation Therapy: A Nationwide Survey of 1,378 Patients	Anticancer research	40	1	393	399	2020-01	1
158	Koike H†, Morita T, Tatebe J, Watanabe I†, Shinohara M†, Kinoshita T†, Yuzawa H†, Suzuki T†, Fujino T†, Ikeda T†	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	The Difference in the Changes of Indoxyl Sulfate after Catheter Ablation among Atrial Fibrillation Patients with and without Kidney Dysfunction.	Scientific Papers			10.1038/s41598-020-57421-z.		2020-01	1
159	Midori Miyagi†, Hiroshi Takahashi†, Kazuaki Tsuchiya†, Hideaki Sekiya†, Satoru Ebihara†	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Role of O-C2 angle in the development of dysphagia in patients with halo-vest fixation	BMC Musculoskeletal Disorders	21	131	1	8	2020-02	1
160	Shida D, Kobayashi H, Kameyama M, Hase K, Maeda K, Suto T, Itabashi M, Funahashi K†, Koyama F, Ozawa H, Noura S, Ishida H, Kanemitsu Y, Kotake K, Sugihara K	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Factors affecting R0 resection of colorectal cancer with synchronous peritoneal metastases: a multicenter prospective observational study by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	International Journal of Clinical Oncology	25	2	330	337	2020-02	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻	号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原稿(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他
161	Rashidian N, Willaert W, Van Herzele L, Morise Z, Alseidi A, Troisi RI; FULCRUM Research Group*	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Key components of a hepatobiliary surgery curriculum for general surgery residents: results of the FULCRUM International Delphi consensus.	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association			in press		2020-02	1
162	Ito M†, Yajima S†, Suzuki Takashi†, Oshima Y†, Nanami T†, Sumazaki M†, Shiratori F†, Funahashi K†, Tochigi N†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	High serum PD-L1 level is a poor prognostic biomarker in surgically treated esophageal cancer.	Cancer medicine	9	4	1321	1327	2020-02	1
163	Hoshino I, Nabeya Y, Takiguchi N, Gunji H, Ishige F, Iwatae Y, Shiratori F†, Yajima S†, Okada R†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Prognostic impact of p53 and/or NY-ESO-1 autoantibody induction in patients with gastroenterological cancers.	Annals of Gastroenterological Surgery			accepted		2020-02	1
164	Miyagi M, Takahashi H, Tsuchiya K, Sekiya H, Ebihara S	医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Role of O-C2 angle in the development of dysphagia in patients with halo-vest fixation.	BMC Musculoskeletal Disord	21	1		131	2020-02	1
165	Yotsumoto J, Sekizawa A, Inoue S, Suzumori N, Samura O, Yamada T, Miura K, Masuzaki H, Sawai H, Murotsuki J, Hamanoue H, Kamei Y, Endo T, Fukushima A, Katagiri Y, Takechita M, Ogawa M, Nishizawa H, Okamoto Y, Tairaku S, Kaji T, Maeda K, Matsubara K, Ogawa M, Osada H, Ohba T, Kawano Y, Sasaki A, Sago H; Japan NIPT Consortium	医学部 医学科 産婦人科学講座 (大森)	Qualitative investigation of the factors that generate ambivalent feelings in women who give birth after receiving negative testing from non-invasive prenatal testing.	BMC Pregnancy Childbirth	20		112		2020-02	1
166	Ohara C, Sekiguchi A, Takakura S, Endo Y, Tamura N, Kikuchi H†, Maruo K, Sugawara N, Hatano K, Kawanishi H, Funaba M, Sugawara A, Nohara N, Kawai K, Fukudo S, Sudo N, Cooper Z, Yoshiuchi K, Ando T*	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Effectiveness of enhanced cognitive behavior therapy for bulimia nervosa in Japan: a randomized controlled trial protocol	BioPsychoSocial Medicine	14	2	1	9	2020-02	1
167	owada Y, Oshiro Y, Inagaki Y, Harada H, Fujiyama N, Kawagishi N, Yagisawa T, Usui J, Akutsu N, Itabashi Y, Saito K, Watarai Y, Ichimaru N, Inamura R, Kyakuno M, Ide K, Shibuya Y, Okabe Y, Ono M, Sasaki K, Shiose A, Yamagishi K, Ohnishi H, Nagashima S, Takahashi M, Yuzawa K, Okamoto H, Ohkohchi N	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	A Nationwide Survey of Hepatitis E Virus Infection and Chronic Hepatitis in Heart and Kidney Transplant Recipients in Japan.	Transplantation	104	2	437	444	2020-02	1
168	©Aoki Y, Hamasaki Y, Satoh H, Matsui Z, Muramatsu M, Hamada R, Harada R, Ishikura K, Hataya H, Honda M, Sakai K, Shishido S	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Long-term outcomes of pediatric kidney transplantation: A single-center experience over the past 34 years in Japan.	International Journal of Urology	27	2	172	178	2020-02	1
169	Komatsu F†, Sasaki Y†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Ovarian vein thrombosis: a potentially fatal differential of pyelonephritis.	Journal of hospital general medicine	2	1	28	33	2020-02	1
170	Kiyoko Murata 1 2, Nozomu Murata 1 3, Baocheng Chu 1, Hiroko Watase 4, Daniel S Hippe 1, Niranjan Balu 1, Jie Sun 1, Xihai Zhao 5, Thomas S Hatsukami 4, Chun Yuan 1, CARE-II Study Collaborators	医学部 医学科 内科学講座 神経内科 (大森)	Characterization of Carotid Atherosclerotic Plaques Using 3-Dimensional MBRGE Magnetic Resonance Imaging and Correlation With Stroke Risk Factors	Stroke	51		475	480	2020-02	1
171	Takashi Kasai, Kiyoshi Mori, Kazuma Kishi†, Takayuki Koburagi, Yukio Hosomi, Hisao Imai, Yutaka Yamada, Makiko Yomota, Syuhei Moriguchi, Masahiro Seike, Koichi Minato, Akihiko Gemma, for TheTokyo Cooperative Oncology Group	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	A phase I and extension study of S-1 and carboplatin for previously untreated patients aged 75 years or more with advanced non-small cell lung cancer - TCOG 1101 -	International Journal of Clinical Oncology	-	-	-	-	2020-02	1
172	Matsumoto S†, Nakanishi R†, Watanabe I†, Aikawa H†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Fujino T†, Amano H†, Toda M†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Heart Rate After Resuscitation From Out-of-Hospital Cardiac Arrest due to Acute Coronary Syndrome Is an Independent Predictor of Clinical Outcome	Circulation Journal	64	4	569	576	2020-02	1
173	Kinoshita T†, Hashimoto K, Yoshioka K, Miwa Y, Yodogawa K, Watanabe E, Nakamura K, Nakagawa M, Nakamura K, Watanabe T, Yusu S, Tachibana M, Nakahara S, Mizunaki K, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Risk stratification for cardiac mortality using electrocardiographic markers based on 24-hour Holter recordings: the JANIES-SHD study.	Journal of Cardiology	75	2	155	163	2020-02	2
174	Aika Suzuki, Susumu Sakamoto, Atsuko Kurosaki, Yasuyuki Kurihara, Keita Satoh, Yusuke Usui, Toshihiro Nanki, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Yasunori Okada, Masayoshi Harigai, Kunihiko Yamagata, Hitoshi Sugiyama, Hiroaki Dobashi, Akihiro Ishizu, Naotake Tsuboi, Joichi Usui, Ken-ei Sada, Sakae Homma, and for Japan Research Committee of Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Chest high-resolution CT findings of microscopic polyangiitis: A Japanese first nationwide prospective cohort study.	AJR American Journal of Roentgenology	印刷	印刷	印刷	印刷	2020-02	1

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類
 高度の医療技術の評価の実績として、発表した英語論文について(2019年度実績)

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名・研究室名	標題	掲載誌名	巻号	開始頁	終了頁	発行年月	論文種別 1:原著(症例報告除く) 2:総説 3:症例報告 9:その他	
175	Takae Ebihara, Peijun Gui, Chika Ooyama, Koichi Kazaki, Satoru Ebihara f	医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室(大森)	Cough reflex sensitivity and urge-to-cough deterioration in dementia with Lewy bodies	ERI open research	6	1	online	2020-03	1	
176	Kanda M, Suh YS, Park DJ, Tanaka C, Ahn SH, Kong SH, Lee HJ, Kobayashi D, Fujiwara M, Shimada H f, Cho B, Murotani K, Kim HH, Yang HK, Koderia Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部医学科臨床腫瘍学講座	Serum levels of ANOS1 serve as a diagnostic biomarker of gastric cancer: a prospective multicenter observational study.	Gastric cancer	23	2	203	211	2020-03	1
177	Iyoda A f, Azuma Y f, Sano A f	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Neuroendocrine Tumors of the Lung: Clinicopathological and Molecular Features.	Surgery Today			Epub ahead of print	2020-03	2	
178	Shin-ichiro Ito 1 2, Seiji Takagi 1 3, Masayo Takahashi 1, Sunao Sugita 1, Yasuhiko Hirami 1 2, Masashi Fujihara 1 2, Towa Uzu 4, Atsushi Azumi 5, Yasuo Kurimoto 1 2	医学部 医学科 眼科学講座(大森), 医学部医学科臨床支援室	Bilateral Retinitis After Influenza Virus Infection in a Case Report	American journal of ophthalmology case reports	17		1000584	2020-03	1	
179	Naoki Hayashi 1, Naoki Atsuta 1, Daichi Yokoi 1, Ryoichi Nakamura 1, Masahiro Nakatochi 2, Masahisa Katsuno 1, Yuishin Izumi 3, Kazuaki Kanai 4 5, Nobutaka Hattori 4, Akira Taniguchi 6, Mitsuya Morita 7, Osamu Kano 8, Kazumoto Shibuya 9, Satoshi Kuwabara 9, Naoki Suzuki 10, Masashi Aoki 10, Ikuko Aiba 11, Kouichi Mizoguchi 12, Masaya Oda 13, Ryuji Kaji 3, Gen Sobue 1	医学部 医学科 内科学講座 神経内科(大森)	Prognosis of Amyotrophic Lateral Sclerosis Patients Undergoing Tracheostomy Invasive Ventilation Therapy in Japan	J Neurol Neurosurg Psychiatry	91		285	290	2020-03	1
180	Abdulla AG, Buzkova P, Nakanishi R f, Budoff MJ	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野(大森)	Association of psychosocial traits with coronary artery calcium development and progression: The Multi-Ethnic Study of Atherosclerosis	J Cardiovasc Comput Tomogr.			doi: 10.1016/j.jcct.2020.03.004	2020-03	1	

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	○有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	○有・無
・ 手順書の主な内容 設置について、医学部長および病院長の責務について倫理委員会の役割について、委員ならびに事務に従事する者の責務について、教育・研修について、申請の手続について、審査事項について、報告について、記録の保存について、審査結果等の公表について、実施状況の報告、調査・中止および変更命令について、臨時の専門部会の設置について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	○有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	○有・無
・ 規定の主な内容 設置について、目的について、構成員について、職務について、予算について、事務について 規程改定について	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回 (WEB講習の場合は常時可能)
-----------------------	----------------------------

・研修の主な内容

「APRIN e-ラーニングプログラム」

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針および利益相反について」

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

東邦大学医学部は「良き臨床医の育成」を学是としている。「良き臨床医」とは、患者さんを全人的にかつ高い技術と適切な態度で診ることができる医師と考えている。卒後2年間の初期臨床研修が修了し、3年目以降は各自それぞれの専門分野に所属し研修を行うが、この後期臨床研修は、将来の医師としての質を決定する重要な期間である。

当院では、卒後3年目以降は5年間のレジデント、さらに5年間のシニアレジデントの職位を設け、大学付属病院においては専門性を求めた研修を行い、教育関連病院においては、それぞれの科の一般性を軸とした研修を行うことにより、幅広くかつ専門性の高い両輪での教育を実践している。

現在、具体的な後期研修プログラムには19の基本領域の他、多数のコース（口腔外科含む）があり（<https://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/kouki/program.htm>）、臨床医としての基礎から専門性の高い領域までの教育が行われ、各分野の認定医・専門医・指導医などの資格を取得できる教育体制を整えている。もちろん、臨床のみならず、研究活動を同時に行い、学位を取得することも可能である。さらに、後輩の教育も重要な責務であり、医学生や研修医の教育を通じて、「良き臨床医」としての基盤を構築できる研修体制を確立している

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	149.1人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
瓜田 純久	内科	教授	35年	
橋詰 勝敬	心療内科	教授	28年	
南木 敏宏	リウマチ科	教授	29年	
島田 長人	外科	臨床教授	38年	
伊豫田 明	呼吸器外科	教授	29年	
船橋 公彦	消化器外科	教授	33年	
渡邊 善則	心臓血管外科	教授	38年	
黒岩 実	小児外科	教授	40年	
水野 雅文	精神科	教授	34年	
高橋 寛	整形外科	教授	32年	
周郷 延雄	脳神経外科	教授	32年	
石河 晃	皮膚科	教授	34年	
中島 耕一	泌尿器科	教授	26年	
森田 峰人	産科	教授	37年	
森田 峰人	婦人科	教授	37年	
松裏 裕行	小児科	教授	37年	
堀 裕一	眼科	教授	25年	
和田 弘太	耳鼻咽喉科	教授	24年	
海老原 覚	リハビリテーション科	教授	30年	
寺原 敦朗	放射線科	教授	34年	
関谷 秀樹	歯科	准教授	41年	
武田 吉正	麻酔科	教授	32年	
本多 満	救急科	教授	28年	
澁谷 和俊	病院診断科	教授	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペン

ャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
◇ 輸液ポンプ等医療機器に関する研修：：5/8, 9, 10（3回）：122名 ◇ BLS・AED研修（看護師）：7/13, 7/20, 8/31, 11/2, 11/16, 11/23（6回）：115名 ◇ BLS・AED研修（クラーク、ヘルパーコメディカル等）：6/20, 7/18, 9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16（7回）：57名 ◇ インフォームドコンセント：10/28・10/29（2回）：116名 ◇ BLS・AED研修：7/13, 7/20, 8/31, 11/2, 11/16, 11/23（6回）：115名 ◇ 看護倫理研修Ⅰ：10/8, 10/9（2回）110名 ◇ 看護倫理研修Ⅱ：7/5, 7/12（2回）：45名 ◇ エンド・オブ・ライフ・ケア：11/16, 11/17（2回）：33名（内、院外7名）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数 ◇ メンバーシップ研修：7/10, 7/11（2回）：111名 ◇ コーチング研修：11/12, 1/23（2回）：90名 ◇ リーダー研修：6/22（1回）：45名 ◇ 問題解決技法：5/17, 12/6（2回）：47名 ◇ リーダーシップ研修：7/18, 1/9（2回）：51名 ◇ コミュニケーション研修：9/26, 10/31（2回）：48名 ◇ プリセプター研修：2/20, 2/27（2回）：118名 ◇ 看護補助者研修（各種）：6/25, 9/12, 12/10, 1/28, 1/29, 3/18（6回）：194名 ◇ 看護管理者研修（各種）：4/24, 25, 26, 6/22, 7/24, 7/25, 7/27, 9/6, 11/2, 11/30, 1/31, 2/14（7回）：196名 ◇ 看護教育担当・指導者研修：5/14, 5/21, 1/16, 2/6（4回）：96名 ◇ 院内コンフリクト・マネジメント研修：9/7（1回）：33名（院内24名, 院外9名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容：研修の期間（実施回数）：研修の参加人数 ◇ エンド・オブ・ライフ・ケア：11/16, 11/17（2回）：33名（院内26名, 院外7名）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 瓜田 純久
管理担当者氏名	医療安全管理部・部長 渡邊正志、感染管理部・部長 舘田一博、薬剤部 部長 西澤健司、臨床工学部 次長 元木康裕、総合相談部 部長 廣井直樹、中央放射線部 技師長 大久保卓史、医療情報管理センター 課長補佐 草道裕子、総務課 次長 平松武昌、人事課 課長 樋山恵、医事課 次長 奥喜代江

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報管理センター
		処方せん	医療情報管理センター
		手術記録	医療情報管理センター
		看護記録	医療情報管理センター
		検査所見記録	医療情報管理センター
		エックス線写真	医療情報管理センター
		紹介状	医療情報管理センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報管理センター
		従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課
		高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課
		閲覧実績	医療情報管理センター
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課及び医療安全管理部

・電子保存およびターミナルデジット方式にて分類
・診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定
※診療録の学外への持出は原則禁止（「診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定」に準ずる）

・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している

・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部及び中央放射線部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部		

・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部及び総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課及び感染管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報管理センター
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等管理部
		監査委員会の設置状況	法人本部および病院総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合相談部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部及び総務課		
			・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部総務課 次長 平松武昌	
閲覧担当者氏名	事務部総務課 課長 安江紀治	
閲覧の求めに応じる場所	個人情報管理室	
閲覧の手続の概要 病院もしくは病院長宛の公文書による依頼・照会に基づき、閲覧の申込みを受け付ける。 受け付けられた内容に対し、病院長が認めた内容について閲覧を実施する。 なお、閲覧は、管理部署（事務部総務課）職員ならびに関係の教職員が立ち会い、指定の閲覧場所（個人情報管理室）にて行う。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> I 総則 II 組織および体制 III 医療安全管理委員会、安全管理対策委員会及び医療事故調査委員会等の設置 IV 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 V 職員研修 VI 医療事故への具体的対応・対策 VII 医療従事者と患者との情報共有 VIII 患者等からの苦情・相談への対応 IX 本指針の見直し 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ ○有・無 ）【医療安全管理委員会】</p> <p>・ 開催状況：年 44 回（週1回）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 重大な問題、医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合は、速やかに原因究明のための調査及び分析を行うこと。原因究明のための調査及び分析は、客観的事実から構造的原因を分析するものであり、個人の責任追及を行うものではないことに留意すること。 2) 分析の結果を活用した医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知を行うこと。医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知とは、組織としての改善方策を企画立案及び実施し、医療機関において情報を共有するものであること。また、改善方策は、背景要因及び根本原因を分析し検討された効果的な再発防止策等を含むものであること。 3) 改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しを行うこと。改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しとは、同様の事故等の発生状況の確認や、医療安全管理委員会の構成員が定期的に関係部署の巡回を行うなどをして調査を行い、必要に応じた医療安全の見直しに基づいた見直しを行うものであること。 4) 要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第1回 全体研修（5/27～5/28：1,179名） 2) 第1回 DVD上映会（6/28、29、7/2、4、5、6：1,125名） 3) 第1回 DVD上映会（7/23、24、25、26、30、31：37名） 4) 第1回 医療安全勉強会（6/12：11名） 5) 第2回 医療安全勉強会（7/31：10名） 6) 第3回 医療安全勉強会（10/25：80名） 7) 第4回 医療安全勉強会（11/7：60名） 8) 第2回 全体研修（11/25～11/26：1,079名） 9) 第2回 DVD上映会（12/9、11、12、13、16、17、18、19、20：1,304名） 10) 第5回 医療安全勉強会（1/22：37名） 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (○有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- 1) 院内での医療事故やヒヤリハット、その他報告が必要な事象に遭遇した場合インシデント・アクシデント支援システム(あんしん君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
死亡報告(モニタ君)システムを用いて行う。
- 2) 管理者が定める22項目の報告は、「毎日報告」(院長報告)で行い、リアルタイムに事例発生をモニタリングする。
その後、院長報告基準以上の事例については後日、医療安全報告書の提出を求める。
- 3) 改善策の策定は、毎週開催される医療安全管理委員会において、あんしん君で報告され全事例を評価し、改善が必要と思われる事例については改善策の策定を求める。院内で協議すべき事例や統一すべき改善策は医療の質統括会議へ提出する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 骨子「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指衛生及び感染予防策を徹底させる」 <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策に関する基本的考え方 2. 感染対策のための委員会 3. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 他病院との連携に関する基本方針 7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8. その他の感染対策の推進のために必要な指針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容：毎月1回定例として委員会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省・東京都等からの通達 ・ 感染症報告書の集計報告 ・ 主要菌サーベイランス報告 ・ 抗菌薬使用状況、耐性菌発生件数報告 ・ ICTラウンド結果報告 ・ 耐性菌警告書発行報告 ・ マニュアル改定・作成報告 ・ 研修報告 ・ 感染防止対策加算における連携に関する活動報告 <p>等を行い、院内感染上問題となる状況やその徴候について審議。また、衛生委員会、医療安全管理部と連携し、感染対策の推進を図っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 24 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員対象とした全体研修を年2回実施 ・ 新型コロナウイルス感染症の研修 ・ 新規採用者に対する研修の実施…医師、研修医、看護師対象に院内感染の基礎知識等 ・ 各職種にあわせた研修の実施 <p>医師、研修医、看護師向け：微生物検査の提出と結果の解釈、感染症診療の基本とTDM・届出、結核画像の読み方、MRSAの感染対策その他：薬剤師、放射線技師、ヘルパー、クラーク、清掃員業務士等</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査部における各種耐性菌の早期発見 ・ 電子カルテを利用した感染情報の共有 ・ 臨床現場における感染予防策の徹底と耐性菌警告文書の発行 ・ 各種サーベイランスの実施 ・ 病棟・外来・その他施設の環境ラウンド及び耐性菌検出患者のラウンドの実施 ・ 抗菌薬適正使用の教育・推進活動 ・ マニュアルの見直しと改訂 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報 ・ 使用方法に関する事項 ・ 業務手順書に関する事項 ・ 副作用が発生した場合の対応に関する情報 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の業務手順書の作成 ・ 医薬品の安全使用のための研修 ・ 業務手順書に基づく実施状況の確認・記録 ・ 改善のための方策の実施 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：無し ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) PMDAおよび製薬企業からの医薬品安全情報を速やかに伝達 (お知らせの配布・院内ネット (メール配信) の利用・会議報告)。 2) セーフティマネージャー会議等を通じて報告内容を全職員に閲覧し周知を図っている。 3) 院内副作用報告は医薬品情報室で一元化し、薬事委員会で報告後職員にも情報を発信している (17件)。 以上の情報は、院内イントラネットで職員が全て随時入手できる体制となっている 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 181 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 除細動器の院内配置と使用時の留意点について講義 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 放射線治療装置の操作、注意事項についての講義 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義および実技指導 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託（メーカー）定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置 ・ 院内実施定期保守：除細動器、血液浄化装置、輸液・シリンジポンプ 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) PMDA（医薬品医療機器総合機構）メディナビに登録 ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 誤接続防止コネクタ国際規格導入に伴う「注射器、その他の容器の使用基準」 改訂 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	○有・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <p>⇒医療安全・医療の質に関わる担当者を配置し、当院の医療安全を統括する。 当院では安全担当副院長がその役割を担う。</p>									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有（6名）・無								
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は、医療法施行規則第9条20の2第3項第3号イ、ロに掲げる措置を適切に実施するとともに、その担当者に医療安全管理室専従の薬剤師を配置している。 ・医療安全管理室専従の薬剤師を活用し、新規採用職員・中途採用職員に対する医薬品安全使用のための教育を実施している。 ・医薬品に関する情報の収集・整理は、医薬品情報室に行わせる。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は医療安全管理室専従薬剤師に指示し、各部署からの未承認や適応外・禁忌に使用する医薬品情報を収集し報告を受ける。医療安全管理室専従薬剤師は医療安全管理委員会にて報告を行う。 <p style="margin-left: 40px;">これらの報告から医薬品安全管理責任者は、必要に応じ医薬品の適正使用にかかる注意喚起（禁忌等や緊急安全性情報等）を院内全体に行わせ、必要に応じ手順の見直しを行っている。</p> ・担当者の指名の有無（○有・無） ・担当者の所属・職種： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）</td> <td style="width: 50%;">（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> <tr> <td>（所属： ， 職種 ）</td> <td>（所属： ， 職種 ）</td> </tr> </table> 		（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）
（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
（所属： ， 職種 ）	（所属： ， 職種 ）								
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ ○有・無 ） 									

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容
 医療安全への報告事例において適格な説明がなされているかその都度カルテにて確認している。
 説明において必須の内容が記載されていない場合は、その都度担当医に連絡し記載をするよう指導
 している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>◇全退院患者の診療録・診療諸記録について確認を行う〔量的監査〕と全診療科の診療録・診療諸記録について確認を行う〔質的監査〕にて診療録等の記載内容を確認している。</p> <p>記載内容の監査については、以下の項目を中心に「診療録・診療所記録監査マニュアル」に則って確認を行い、不備等があれば当該診療責任者と記載医へ通知を行っている。</p> <p>確認項目：診療記録、インフォームド・コンセント、手術記録、退院サマリー、 書類（入院診療計画書・検査等承諾書・手術承諾書・麻酔承諾書等）</p> <p>◇主な指導（通知）内容：病名の訂正・追加、日付の誤り、略語の訂正、ICや書類の不備 等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	○有・無
<p>・所属職員：専従（10）名、専任（1）名、兼任（9）名 うち医師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 安全管理に関する基本的考え方や組織に関する基本的事項について明示した安全管理のため指針の策定に関すること 2) インシデント及びアクシデントの実態の把握と、その背景要因の分析と評価に関すること 3) 「医療の質」の向上に関すること 4) 院長報告基準に該当する事例が発生した場合、診療録その他の記録等が正確かつ十分になされていることの確認及び指導、事例の記録、保管に関すること 5) 事故発生時の患者や家族の説明など対応状況についての確認、及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び、指導に関すること 6) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び、職員の医療の安全に関する意識の向上の状 	

況を確認し記録すること

- 7) 医療安全に関わる連絡調整に関すること
- 8) 医療の質統括会議の記録事務に関すること
- 9) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援すること
- 10) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策に関すること
- 11) 安全管理に関わる研修会の企画・運営に関すること
- 12) 安全管理対策委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他安全管理対策委員会庶務に関すること
- 13) 安全文化の醸成に関すること
- 14) その他医療安全の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（○有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（○有・無）
- ・ 活動の主な内容：
高難度新規医療技術の導入を行う際には、各診療科から書類で高難度新規医療技術管理部門に申告する。高難度新規医療技術管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は管理部とは独立しており、導入の可否、導入の方法を審議しその結果を管理部へ報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会の結果を評価し、最終的な導入開始の決定を行う。承認された技術について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかを評価する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（○有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（○有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（2件）

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ○有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ○有・無 ）
- ・活動の主な内容：

国内未承認の医薬品・医療機器を使用する際には、各診療科から書類で未承認新規医薬品等管理部に申請を行う。未承認新規医薬品等管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は使用の可否を検討し管理部へ検討結果を報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会での結果を評価し、最終的な使用開始の決定を行う。使用を認めた医薬品や医療機器について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかをモニタリングし評価する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ○有・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ○有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 514 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 376 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

(入院患者が死亡した場合の報告事項)

死亡事例報告/死産報告(院内システムの【モニタ君】報告)による、患者 ID-患者氏名-死亡日-死亡時刻-性別-年齢-死亡の予期(スタッフ/遺族)-遺族の納得。

(入院患者の死亡以外の水準)

【モニタ君】報告/毎日報告(バリエンス報告・医療安全管理部への報告)

追加の治療が必要となる(3b以上となり得る)バリエンス 22 項目を院長が設定、毎日病棟等関係部署より発生があったかどうか、あった場合は項目番号が報告される。医療安全管理部内で毎日、現病等による病状の悪化か、予期したものか、加えられた追加治療は何か、3b 以上であるか、等を検討する。

水準:手術室・検査室等にて処置が必要となった。

入院期間の延長が見込まれる

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り

(○有(病院名:静岡県立静岡がんセンター/杏林大学医学部付属病院)・無)

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ

(○有(病院名:静岡県立静岡がんセンター/杏林大学医学部付属病院)・無)

・技術的助言の実施状況

1) 入院患者の内服管理について、内服確認はできているが記録として管理されていない。病棟常備薬について、いつ誰が何を使用したか管理されていない。病棟の薬剤カートについて鍵が外れていて施錠できない状態になっている。いずれの事項も改善が望ましい。

2) クリティカル部門において高濃度カリウム製剤が定数配置されていたが、カリウム誤投与防止の観点から病棟定数配置は廃止し、薬剤部での一元管理および薬剤師の処方チェックについて検討してほしい。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

窓口の名称 : 総合相談・がん相談支援センター

相談日・時間 : 月曜日から金曜日 9:00 から 17:00

土曜日 9:00 から 14:00

(祝日・第3土曜日・年末年始・創立記念日 6/10 は除く)

責任者氏名 : 廣井直樹(医師)

(活動状況等)

●患者等への明示方法

- ・院内(各建物)の入口等に「総合相談」を表示している。
- ・院内案内図「A0(総合相談)」場所(窓口)を案内している。
- ・ポスターを各建物入口付近に掲示し案内している。
- ・総合相談前にカウンターを設け積極的に対応を行っている。
- ・病院リーフレット「総合相談のご案内」を配布用として各建物入口付近に置いている。

病院ウェブサイトに掲載

●患者等が不利益を受けないよう適切な配慮の具体的方策

- ・東邦大学医療センター大森病院 総合相談部規約第14条(相談情報の秘密保護)の規定順守。

・ポスター、リーフレット、ウェブサイト「個人情報厳守し、不利益が生じないよう配慮しています。」と記載してある。

●相談窓口以外の相談の受付方法

※院内投書箱設置

※電話相談

※病院ウェブサイトからご意見・ご質問を受けとれる入力フォームの設置

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

・医療法施行規則第9条の20の2第1項第1号～11号、第15条の4第2号及び第4号に掲げる事項

・職員の研修、外部報告、院内報告等について令和元年5月27、28日の全体研修で話をした。
・説明と同意のルール等について、令和元年11月25日、26日の全体研修で話をした。

・監査委員会からの意見に関する事項

高難度新規医療技術等に関する方針、検討体制について第2回目の全体研修で話をした。

・従業者が連携、協働して医療を提供するために必要な知識、技能であって高度な医療の提供に必要な事項

第1回目の全体研修で、TeamSTEPSのツールについて話をした。また、第2回目の全体研修のTeamingや心理的安全性について話しをした。

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全管理責任者(副院長)

【研修時期】令和元年12月16日

【研修内容】2019年度 特定機能病院管理者研修受講

【主催者名】公益財団法人 日本医療機能評価機構

医薬品安全管理責任者

【研修時期】令和2年2月12日

【研修内容】2019年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】財団法人日本医療機能評価機構

医療機器安全管理責任者

【研修時期】 令和元年 10 月 28 日

【研修内容】 2019 年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】 財団法人日本医療機能評価機構

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 東邦大学医学部附属病院長選任規程（内規）（令和2年4月1日一部改訂） ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 病院ウェブサイト 学内ポータルサイト 	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・○無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ○有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイトまたは病院ウェブサイト 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
	理事長		選任規程による	○有・無
	常務理事		選任規程による	○有・無
	常務理事		選任規程による	○有・無
	学長		選任規程による	○有・無
	医学部長		選任規程による	○有・無
	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
	病院所属の准教授		選任規程による	○有・無
	病院所属の講師		選任規程による	○有・無
	外部委員		選任規程による（利害関係無し）	有・○無
	外部委員		選任規程による（利害関係無し）	有・○無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		○有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>診療部委員会</p> <p>病院の運営方針、中期計画、予算及び決算の審議</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 議事録等はイントラネットを用いて各部署で閲覧できる仕組みにしている</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（○有・無） ・公表の方法 内部規程はイントラネットを用いて各部署で閲覧できる仕組みにしている</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・○無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
診療部委員会名簿 別紙参照			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ）
- ・ 公表の方法
病院ウェブサイト
- ・ 規程の主な内容
管理者が病院の管理・運営に必要な指導力を発揮できる内容、有する権限
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙参照（執行部担当表）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内研修として、将来構想若手勉強会
外部研修として、医事研究会、医療安全研修など

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 委員会は、当該病院における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について、管理者等から報告を求め、または必要に応じて自ら確認を実施する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（○有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（○有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（○有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（○有・無） ・ 公表の方法：病院ホームページ 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士（東京弁護士会）		法律に関する識見を有する者	有・○無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHK チーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）

高松 研	東邦大学 学長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
渡邊 善則	東邦大学 医学部 学部長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	有り
<ul style="list-style-type: none">・体制の整備状況及び活動内容 法人本部監査室 ・ 専門部署の設置の有無 (<input type="radio"/>有・無)・ 内部規程の整備の有無 (<input type="radio"/>有・無)・ 内部規程の公表の有無 (<input type="radio"/>有・無)・ 公表の方法 学内ポータルサイト	

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

有り			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p style="margin-left: 20px;">理事会</p> <p style="margin-left: 20px;">病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ○有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイト 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
理事会名簿 別紙参照			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ）
- ・ 通報件数（平成31年度：0件）
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ）
- ・ 周知の方法
全体研修および各種会議にて報告

診療部委員会 委員会名簿

更新日：2020/9/28

管理当直の件

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員長	瓜田 純久	病院長	病院長
委員	盛田 俊介	副院長	副院長
委員	五十嵐 良典	副院長	副院長
委員	船橋 公彦	副院長	副院長
委員	田村 清美	副院長	副院長
委員	瓜田 純久	各科診療責任者	総合診療内科
委員	島田 長人	各科診療責任者	総合診療外科
委員	五十嵐 良典	各科診療責任者	消化器内科
委員	船橋 公彦	各科診療責任者	消化器外科
委員	池田 隆徳	各科診療責任者	循環器内科
委員	渡邊 善則	各科診療責任者	心臓血管外科
委員	岸 一馬	各科診療責任者	呼吸器内科
委員	伊豫田 明	各科診療責任者	呼吸器外科
委員	弘世 貴久	各科診療責任者	糖尿病・代謝・内分泌センター
委員	酒井 謙	各科診療責任者	腎センター
委員	狩野 修	各科診療責任者	脳神経内科
委員	周郷 延雄	各科診療責任者	脳神経外科
委員	南木 敏宏	各科診療責任者	膠原病科
委員	松裏 裕行	各科診療責任者	小児科
委員	黒岩 実	各科診療責任者	小児外科
委員	松裏 裕行	各科診療責任者	小児循環器科
委員	名取 一彦	各科診療責任者	血液・腫瘍科
委員	緒方 秀昭	各科診療責任者	乳腺・内分泌外科
委員	端詰 勝敬	各科診療責任者	心療内科
委員	水野 雅文	各科診療責任者	精神神経科
委員	荻野 昌弘	各科診療責任者	形成外科
委員	高橋 寛	各科診療責任者	整形外科
委員	森田 峰人	各科診療責任者	産婦人科
委員	石河 晃	各科診療責任者	皮膚科
委員	中島 耕一	各科診療責任者	泌尿器科
委員	堀 裕一	各科診療責任者	眼科
委員	和田 弘太	各科診療責任者	耳鼻咽喉科
委員	堀 正明	各科診療責任者	放射線科
委員	武田 吉正	各科診療責任者	麻酔科
委員	田中 耕一郎	各科診療責任者	東洋医学科
委員	与田 仁志	各科診療責任者	新生児科
委員	海老原 覚	各科診療責任者	リハビリテーション科
委員	関谷 秀樹	各科診療責任者	口腔外科
委員	渋谷 和俊	各科診療責任者	病理診断科
委員	鷺澤 尚宏	中央診療部門	栄養治療センター
委員	中村 陽一	中央診療部門	緩和ケアセンター
委員	名取 一彦	中央診療部門	化学療法センター
委員	本多 満	中央診療部門	救命救急センター

診療部委員会 委員会名簿

更新日：2020/9/28

管理当直の件	診療部委員会		
役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	渡邊 善則	中央診療部門	大動脈センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	五十嵐 良典	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	島田 長人	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	佐藤 暢一	中央診療部門	呼吸ケアチーム
委員	松崎 淳人	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	寺田 享志	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	船橋 公彦	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	塩野 則次	中央施設部門責任者	輸血部
委員	西澤 健司	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷲澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	渋谷 和俊	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高橋 寛	中央施設部門責任者	メディカルフォトセンター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	松裏 裕行	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	吉澤 定子	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	大島 勝	事務部長	事務部長
委員	渡邊 正志	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	廣井 直樹	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	並木 温	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

執行部担当表

職名	氏名	所属		担当	主催会議・委員会
病院長	ウリタ ヨシヒサ 瓜田 純久	総合診療内科	教授		01 病院運営審議会 07 医療の質統括会議 1 診療部委員会 13 薬事委員会 14 新規診療材料購入委員会 18 先進医療委員会 22 執行部・課長会議 23 病院経営企画会議 35 臨床修練委員会 40 「からだのとしよしつ」運営委員会
副院長	モリタ トシスケ 盛田 俊介	臨床検査部	教授	●業務管理担当 ・地域連携 ・医師会関係 ・予算折衝 ・経営企画 ・国際医療支援 ・羽田地区 ・副医学部長	17 臨床検査検討委員会 20 地域医療支援センター運営委員会 47 広報委員会
副院長	イガラシ ヨシノリ 五十嵐 良典	消化器内科	教授	●診療・働き方・感染担当 ・感染管理 ・労働安全 ・経営企画 ・管理当直	04 院内選考委員会 013 院内感染対策委員会 26 医師業務軽減委員会 42 衛生委員会
副院長	フナハン キミヒコ 船橋 公彦	消化器外科	教授	●安全管理・教育担当 ・医療安全 ・総合相談 ・倫理 ・中央手術部 ・経営企画	08 安全管理対策委員会 09 医療安全管理委員会 8 中央手術部運営委員会
副院長	サカイ ケン 酒井 謙	腎センター	教授(病院)	●病院機能評価受審業務担当	
副院長	タムラ キヨミ 田村 清美	看護部	部長	●看護担当 ・経営企画	4 看護師長会議 43 レクリエーション委員会
院長補佐	ワタナベ マサシ 渡邊 正志	医療安全管理部	教授(病院)	・医療安全	38 患者サービス・サポート委員会
院長補佐	マツウラ ヒロユキ 松裏 裕行	小児科	教授	・医療情報管理 ・保険	3 業務管理会議 48 保険委員会 49 DPC委員会
院長補佐	シマダ ナガト 島田 長人	教育企画管理部	臨床教授	・院内教育 ・研修医 ・保育園	33 院内教育委員会 34 院内研修運営委員会 36 研修管理委員会
院長補佐	スゴウ ノブオ 周郷 延雄	脳神経外科	教授	・検診センター ・放射線安全管理	2 医局長会議 21 検診センター運営委員会 24 輸血療法委員会
院長補佐	タカハシ ヒロシ 高橋 寛	整形外科	教授	・外来運営 ・病棟運営 ・個人情報	6 外来運営委員会 7 病棟運営委員会 25 個人情報保護委員会
院長補佐	ミヤザキ タイ 宮崎 泰斗	感染管理部	助教	・感染管理	
事務部長	オオシマ マサル 大島 勝	事務部	部長	・事務	5 事務部課長会議 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 32 防災対策委員会 46 院内清掃環境委員会



東邦大学 教職員ポータルサイト



大学に関わる様々な情報を、
教職員がタイムリーかつスムーズに得られることを目的とした東邦大学教職員専用サイト。

理事・役員一覧(令和2年4月1日現在)

役員

理事長	炭山 嘉伸	東邦大学名誉教授
理事	高松 研	学長
常務理事	白井 久己	(財務・施設担当)
常務理事	中村 俊一郎	(総務・人事担当)
理事	渡邊 善則	医学部長
理事	田中 芳夫	薬学部長
理事	古田 寿昭	理学部長
理事	福島 富士子	看護学部長
理事	瓜田 純久	大森病院長
理事	松本 琢司	付属東邦中・高等学校校長
理事	五十嵐 良典	医学部教授
理事	石井 敏浩	薬学部教授
理事	渡邊 直子	理学部教授
理事	額田 均	医学部東邦会会長
理事	塚原 英基	薬学部鶴風会理事長
理事	吉田 茂雄	理学部鶴風会理事長
理事	大島 範子	東邦大学名誉教授
監事	西込 明彦	弁護士
監事	山田 眞之助	公認会計士

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	○有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>◇ 日本医療機能評価機構 一般病院2 機能種別版評価項目3rdG : Ver. 1.1 平成28年4月1日付で3度目の認定更新 (認定期間：平成28年3月20日～平成33年3月19日、初回認定日：平成18年3月20日)</p> <p>◆ 日本医療機能評価機構 一般病院3 機能種別版評価項目3rdG : Ver. 2.0 (令和3年 1月20日・21日・22日 受審予定)</p> <p>◇ ISO 15189「臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項」認定取得 (認定期間：平成29年3月16日～平成33年3月31日、初回認定日：平成29年3月16日)</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	○有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>◇ 地域連携学術セミナーを年1回開催し、当院の診療内容・方針を理解していただき、地域医療機関との医療連携促進に役立てている。</p> <p>◇ 公開講座を実施し、一般の方に対して、広く情報発信を行っている。(年間10回)</p> <p>◇ 広報誌「The Expert」を月に1回発行し、当院の診療内容について広く情報発信を行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>◇ 組織横断的なチームを形成することで、複数の診療科・多職種の職員が連携して、対応に当たっている。(呼吸ケア・褥瘡ケア・認知症ケアチーム、周術期センター等)</p>	

(様式第 8)

東邦大森院（総）第 2-6 6 号
令和 2 年 1 1 月 2 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人 東邦大
理事長 炭山 嘉

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

・研修の実施状況

管理者

【研修時期】令和 2 年 1 0 月 1 5 日受講

【研修内容】2020 年度 特定機能病院管理者研修受講

【主催者名】公益財団法人 日本医療機能評価機構

2. 医療安全管理部門の人員体制

--

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

--